

平成 26 年度

学校基本調査報告書



香 川 県

ま え が き

文部科学省においては、学校数、在学者数、卒業者数、教員数、学校施設等の状況を明らかにするため、毎年、統計法による基幹統計調査として「学校基本調査」を実施してきました。

この報告書は、平成 26 年度に実施した「学校基本調査」のうち、初等中等教育機関、専修学校及び各種学校に関する学校調査、学校通信教育調査、卒業後の状況調査、不就学学齢児童生徒調査並びに学校施設調査について、香川県の結果をまとめたものです。

この調査の結果が、学校教育行政上の基礎資料として、広く活用されることを期待いたしております。

最後に、この調査に御協力いただきました各学校、市町教育委員会をはじめ関係された皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成 27 年 2 月

香川県政策部長 工代 祐司

目 次

利用上の注意	1
調査の概要	3

調査結果の概要

I 学 校 調 査

1 幼 稚 園	9
2 小 学 校	13
3 中 学 校	18
4 高 等 学 校	23
5 特別支援学校	28
6 専 修 学 校	30
7 各 種 学 校	33

II 卒業後の状況調査

1 中学校卒業生	35
2 高等学校卒業生	38
3 特別支援学校(中学部・高等部)卒業生	42

III 不就学学齢児童生徒調査	43
-----------------------	----

《 利用上の注意 》

- 1 この報告書に収録したものは、国立校を含む県内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校における調査結果である。
数値については、文部科学省の公表した調査結果の確定値である。
- 2 統計表の符号の用法は次のとおりである。
 - 「－」 計数がない場合
 - 「0.0」 計数が単位未満の場合
 - 「…」 計数出現がありえない場合又は調査対象とならなかった場合割合算出については、小数点第2位を四捨五入した。このため各構成比を合計しても100.0%にならないものがある。
- 3 用語について
 - 「特別支援学校」…………… 学校教育法の一部改正に伴い、平成19年4月1日から、盲学校、聾学校及び養護学校の制度が一本化されて特別支援学校となった。
 - 「就園率」…………… 当該年度小学校第1学年児童数に対する当該年3月幼稚園修了者数の割合
 - 「へき地等指定学校」……… 交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、離島その他の地域に所在する公立の小学校及び中学校で、へき地教育振興法第2条及び県条例で指定された学校
 - 「単式学級」…………… 同学年の児童生徒で編制されている学級
 - 「複式学級」…………… 2以上の学年の児童生徒で編制されている学級
 - 「特別支援学級」…………… 学校教育法第81条第2項各号に該当する児童生徒（知的障害者、肢体不自由者、身体虚弱者、弱視者、難聴者、その他障害のある者で、当該学級において教育を行うことが適当なもの。）で編成されている学級
 - 「長期欠席者」…………… 平成26年3月31日現在の在学者のうち、前年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒
病気、経済的理由、不登校、その他（家庭の事情、外国滞在、1年未満の連絡先不明、主たる理由が特定できないなど）の4つに分けられる。
 - 「不登校」…………… 心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況
欠席状態が長期に継続している理由が、学校生活上の影響、あそび・非行、無気力、不安など情緒的混乱、意図的な拒否、これらの複合等であるものとする。
 - 「帰国児童生徒」…………… 児童生徒のうち、海外勤務者等の子どもで、引続き1年を超える期間海外に在留し、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの間に帰国した者
 - 「本務・兼務」…………… 教職員の本務・兼務の区別は、原則として辞令面による。ただし、辞令面ではっきりしない場合は、俸給（給料又はこれに相当するものを含む。）を支給されている学校を本務とし、それ以外は兼務とする。2校以上から俸給を支給されている場合は、支給額の多い方を本務とする。俸給が同額又は一括支給されている場合は、授業時数の多い方を本務とする。
本務者には、休職者、産休者及び育児休業者並びに産休代替者及び育児休業代替者を含めるが、非常勤講師は含めない。

「負担法による者」…… 市町村立学校職員給与負担法及び義務教育費国庫負担法により都道府県費から給与が支給されている者

専修学校の課程のうち

「高等課程」…… 中学校を卒業した者を前提とし、これと同等以上の学力があると認められた者を入学資格とする課程

「専門課程」…… 高等学校を卒業した者を前提とし、これに準ずる学力があると認められた者を入学資格とする課程

「一般課程」…… 特に入学資格を定めない課程

「進学率」…… 卒業者総数に対する進学者数（進学しかつ就職した者を含む。）の割合

「入学志願者数」…… 学校調査においては、願書を提出した者の数である。卒業後の状況調査においては、願書を提出した者の実数であり、同一人が複数校（又は課程）に提出した場合も1人とし、複数校（又は課程）に志願し、いずれにも合格した場合は、実際に進学した方を、いずれも不合格の場合は、第一志望の方を入学志願先として計上している。

「公共職業能力開発施設」… 国、都道府県、市町村、事業主等が公共職業訓練又は認定職業訓練を行うために設置した施設。職業能力開発短期大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発促進センター、障害者職業能力開発校等

「就職」…… 経常的収入を得る仕事に就くことをいい、自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は含めない。

「就職者総数」…… 就職者に大学等（高等学校等）進学者、専修学校等の進学者・入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者を加えた全就職者数

「就職率」…… 卒業者総数に対する就職者総数の割合

「不就学学齢児童生徒」… 学校教育法第18条の規定により就学の猶予又は免除を受けた学齢児童生徒等

調 査 の 概 要

この調査は、文部科学省が基幹統計として「学校基本調査規則（昭和 27 年文部省令第 4 号）」に基づいて毎年実施しているものである。

1 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

2 調査の時期

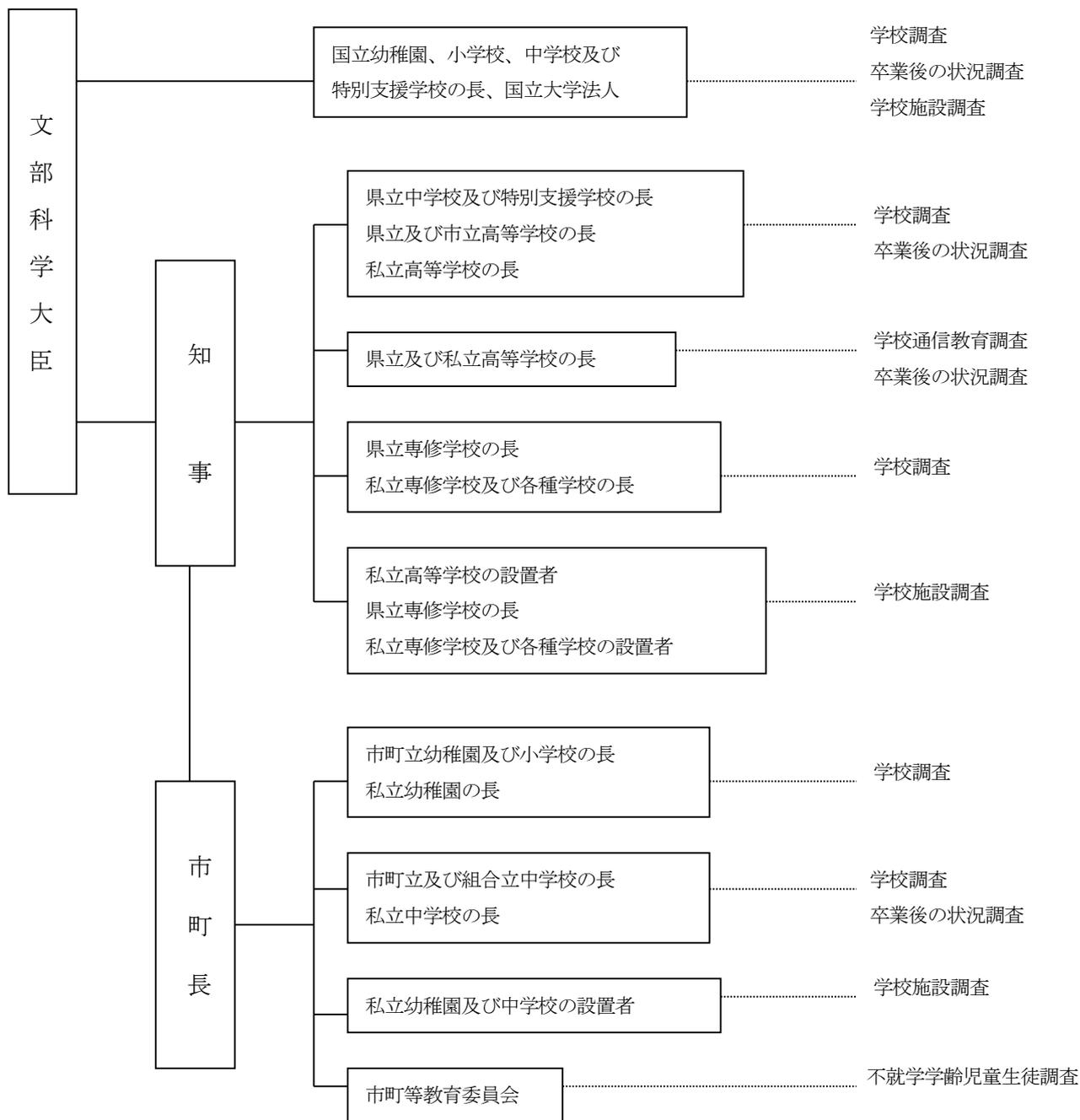
平成 26 年 5 月 1 日

3 調査の区分・事項・範囲・報告義務者等

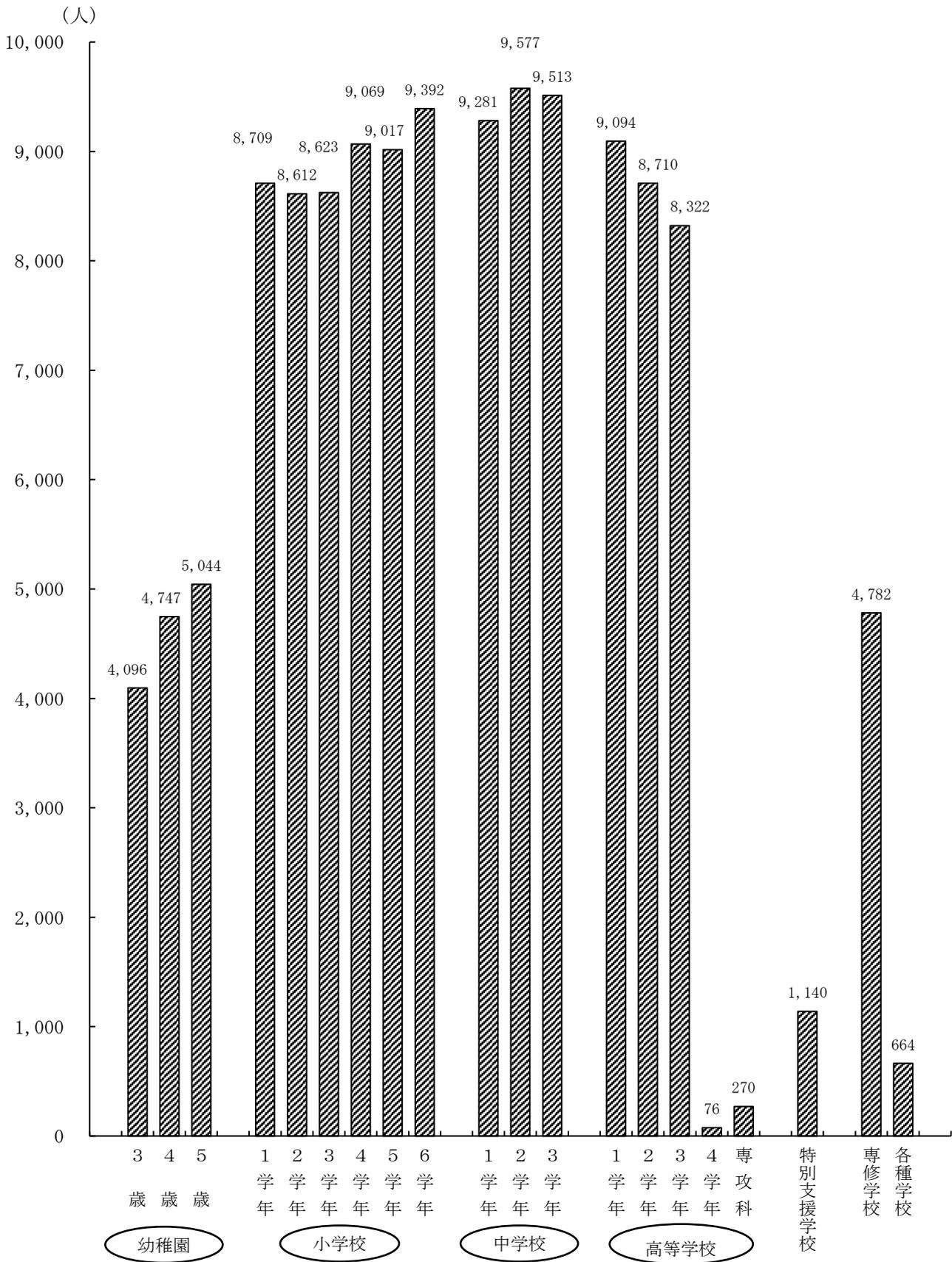
幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校並びに不就学学齢児童生徒につき、下記の事項を調査する。

区 分	事 項	範 囲	報告義務者等
学校調査	(1) 学校の名称、種別及び所在地 (2) 学校の特性に関する事項 (3) 学科、課程又は学級に関する事項 (4) 教員及び職員の数 (5) 幼児、児童、生徒の在籍状況及び出席状況 (6) 幼児、児童、生徒の入学、卒業及び転出入の状況	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 専修学校 各種学校	学校の長
学校通信教育調査	(1) 学校の名称及び所在地 (2) 学校の特性に関する事項 (3) 教員及び職員の数 (4) 生徒の在籍状況 (5) 生徒の入学、退学及び単位修得の状況	通信制の課程を置く高等学校	学校の長
不就学学齢児童生徒調査	(1) 教育委員会の名称及び所在地 (2) 学齢児童生徒の就学の免除及び猶予の状況 (3) 居所不明の学齢児童生徒の数 (4) 死亡した学齢児童生徒の数	6 歳～14 歳	市町等教育委員会
学校施設調査	(1) 学校の名称、種別及び所在地 (2) 学校の特性に関する事項 (3) 土地又は建物の用途別、構造別等の面積 (4) 土地又は建物の増減の状況	私立学校及び公立の専修学校	私立学校の設置者 公立専修学校の長
卒業後の状況調査	(1) 学校の名称、種別及び所在地 (2) 学校の特性に関する事項 (3) 卒業者の卒業時における所属に関する事項 (4) 卒業者の進学、就職等の状況	中学校 高等学校 特別支援学校 (中学部・高等部)	学校の長

4 調査系統

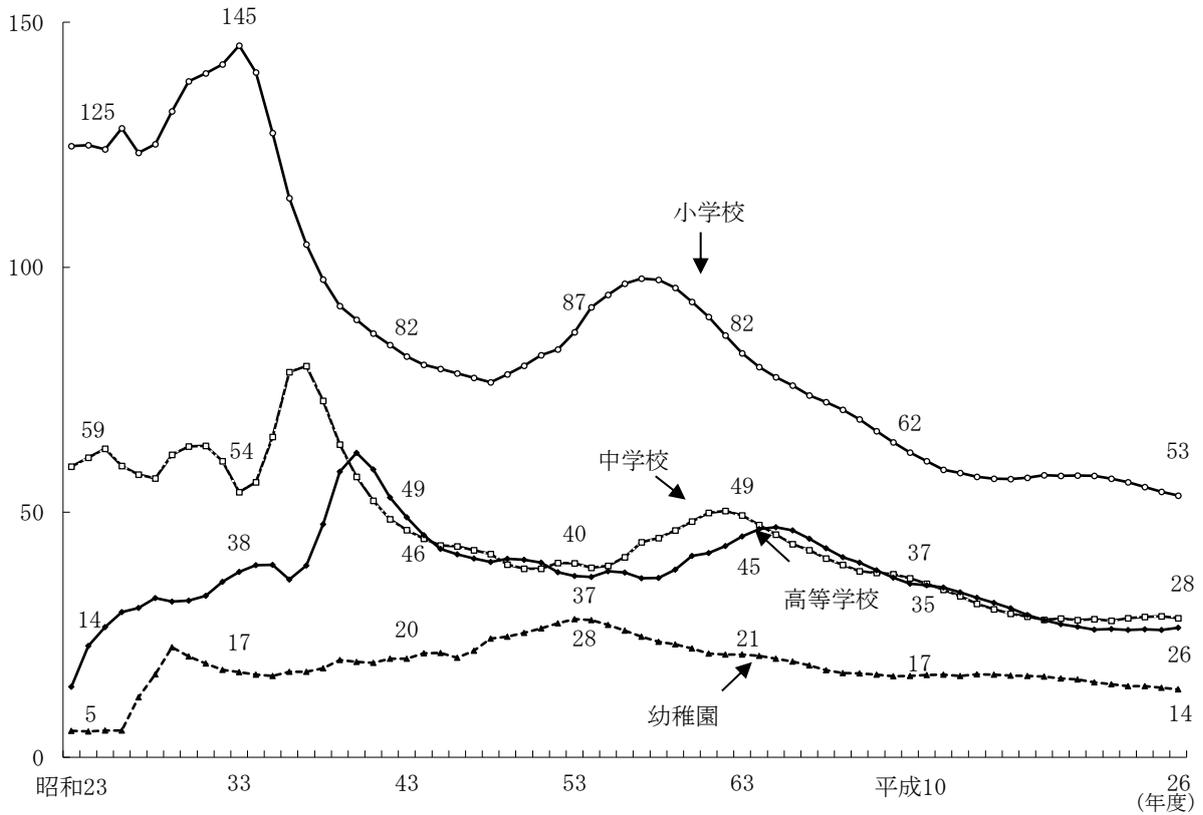


(2) 学校種別在学者数



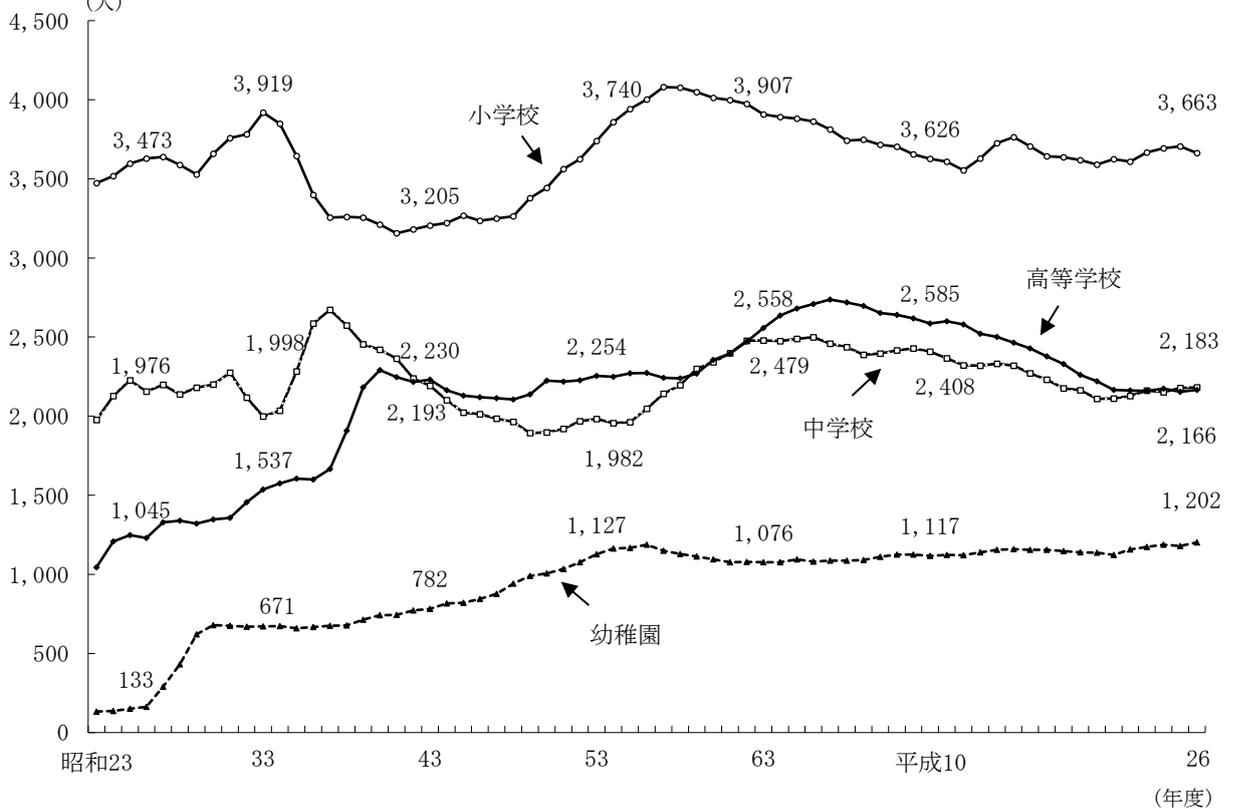
(3) 園児数・児童数・生徒数の推移

(千人)

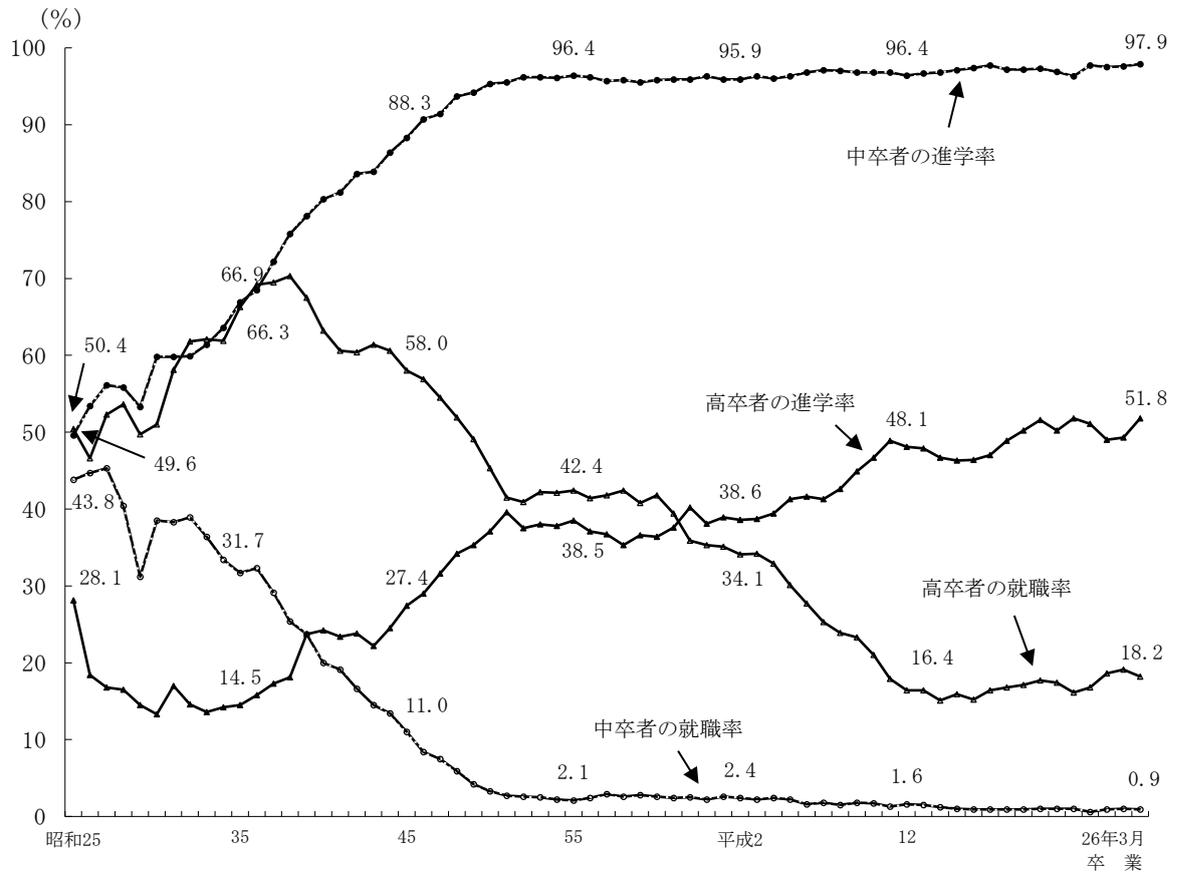


(4) 教員数の推移

(人)



(5) 卒業後の状況の推移



調査結果の概要

I 学校調査

1 幼稚園

(1) 園数(表1, 2, 図1)

- ① 園数は169園(本園167園、分園2園)、新設が2園(本園2園)、廃園が8園で、前年度より6園減少している。
- ② 幼稚園数を設置者別にみると、国立1園、公立133園(市立99園、町立34園)、私立35園(学校法人立34園、個人立1園)となっている。
- ③ 全幼稚園数のうち、国・公立の占める割合は79.3%である。なお、全国平均は36.9%となっている。

表1 幼稚園の設置者別幼稚園数

(単位:園)

区分	計	国立 (本園)	公立				私立			
			県立 (本園)	市立		町立		学校 法人立 (本園)	宗教 法人立 (本園)	個人立 (本園)
				本園	分園	本園	分園			
平成22年度	177	1	-	104	-	32	4	34	1	1
23	178	1	-	105	-	32	4	34	1	1
24	175	1	-	105	-	32	2	34	-	1
25	175	1	-	105	-	32	2	34	-	1
26	169	1	-	99	-	32	2	34	-	1

- ④ 在園者数から園の規模をみると、50人以下が63園(全幼稚園数の37.3%)、51~100人が58園(同34.3%)、101~150人が24園(同14.2%)等となっており、100人以下の幼稚園が全体の71.6%を占めている。

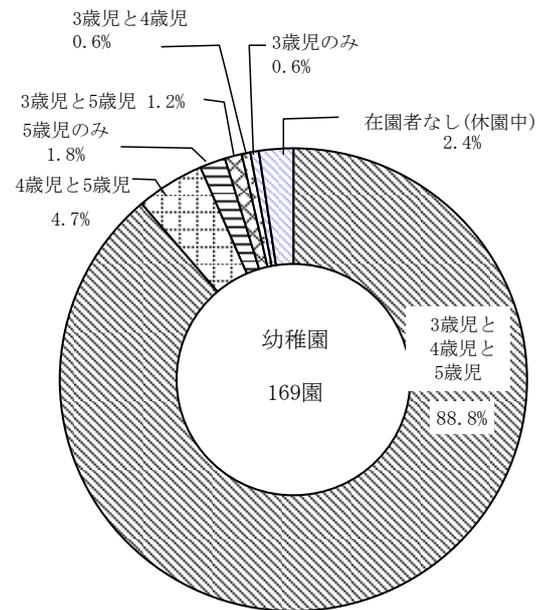
表2 幼稚園の在園者数別幼稚園数

(単位:園・%)

区分	平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	総数	割合	国・公立	私立																
総数	177	100.0	141	36	178	100.0	142	36	175	100.0	140	35	175	100.0	140	35	169	100.0	134	35
50人以下	61	34.5	59	2	65	36.5	63	2	68	38.9	66	2	67	38.3	65	2	63	37.3	61	2
51~100	68	38.4	57	11	65	36.5	56	9	58	33.1	49	9	62	35.4	53	9	58	34.3	50	8
101~150	21	11.9	13	8	23	12.9	13	10	27	15.4	18	9	23	13.1	15	8	24	14.2	15	9
151~200	13	7.3	9	4	12	6.7	8	4	9	5.1	5	4	11	6.3	5	6	12	7.1	5	7
201~250	8	4.5	2	6	7	3.9	1	6	6	3.4	-	6	6	3.4	2	4	5	3.0	2	3
251~300	4	2.3	1	3	4	2.2	1	3	5	2.9	2	3	3	1.7	-	3	5	3.0	1	4
301人以上	2	1.1	-	2	2	1.1	-	2	2	1.1	-	2	3	1.7	-	3	2	1.2	-	2

- ⑤ 編制方式別でみると、3歳児と4歳児と5歳児で編制している園が150園、3歳児と4歳児で編制している園が1園、3歳児と5歳児で編制している園が2園、4歳児と5歳児で編制している園が8園、3歳児のみで編成されている園が1園、5歳児のみで編成されている園が3園である。(休園中が4園)

図1 幼稚園の編制方式別構成比



(2) 学級数

- ① 学級数は772学級(国立5学級、公立492学級、私立275学級)で、前年度と同数である。
- ② 1学級当たりの園児数は18.0人で、前年度より0.4人減少している。

(3) 在園者数(表3, 図2, 3, 4)

- ① 在園者数は13,887人(男7,057人、女6,830人)で、前年度より290人減少(男135人、女155人)している。

表3 幼稚園の年齢別在園者数及び修了者

(単位:人)

区分	総数			3歳児		4歳児		5歳児		前年度修了者		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女
平成22年度	14,936	7,502	7,434	2,182	2,126	2,491	2,569	2,829	2,739	5,646	2,854	2,792
23	14,495	7,269	7,226	2,190	2,105	2,565	2,491	2,514	2,630	5,550	2,807	2,743
24	14,496	7,335	7,161	2,194	2,180	2,529	2,439	2,612	2,542	5,183	2,535	2,648
25	14,177	7,192	6,985	2,119	2,097	2,500	2,426	2,573	2,462	5,151	2,620	2,531
26	13,887	7,057	6,830	2,099	1,997	2,386	2,361	2,572	2,472	5,045	2,575	2,470

- ② 設置者別にみると、国立135人(全在園者数の1.0%)、公立8,287人(同59.7%)、私立5,465人(同39.4%)となっている。
- ③ 年齢別にみると、3歳児4,096人(全在園者数の29.5%)、4歳児4,747人(同34.2%)、5歳児5,044人(同36.3%)となっている。
- ④ 小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合(就園率)は57.9%で、前年度より1.9ポイント低下している。なお、全国平均は54.2%で、本県は全国第16位となっている。

図2 設置者別在園者構成比

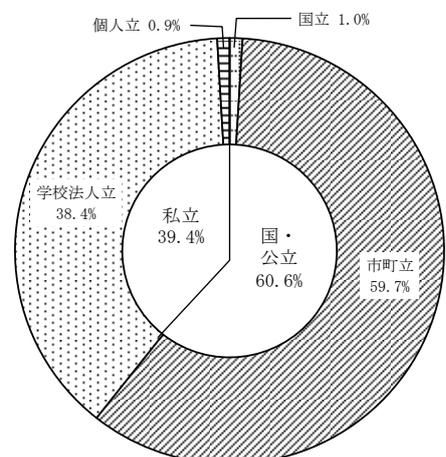


図3 幼稚園の就園率の推移

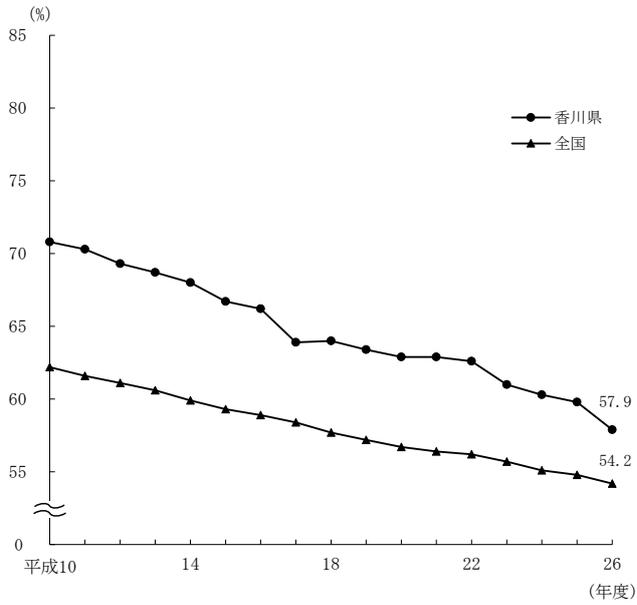
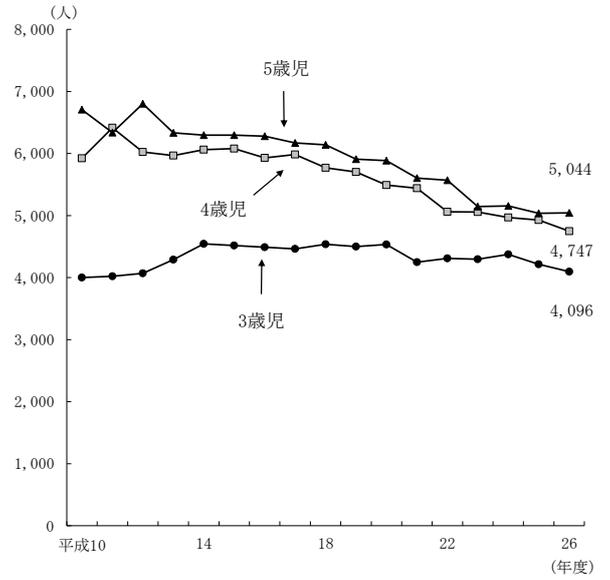


図4 幼稚園の年齢別在園者の推移



(4) 教員数 (表4, 図5, 6)

- ① 教員数 (本務者) は1,202人 (国立7人、公立797人、私立398人) で、前年度より22人増加している。
- ② 教員数 (本務者) のうち、女性教員の占める割合は95.9%で、前年度より0.5ポイント低下している。
- ③ 本務教員一人当たりの園児数は11.6人で、前年度より0.4人減少している。なお、全国平均は14.0人で、前年度より0.3人減少している。

表4 幼稚園の職名別教員数 (本務者)

区分	(単位: 人)																					
	総数			園長		副園長		教頭		主幹教諭		指導教諭		教諭		助教諭		養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	女	男	女
平成22年度	1,157	44	1,113	16	128	3	12	2	37	-	6	-	1	12	648	-	-	1	-	1	11	279
23	1,174	40	1,134	16	133	4	13	2	37	-	7	-	-	8	640	-	1	1	1	1	10	300
24	1,188	41	1,147	15	131	2	14	2	36	-	8	-	1	13	649	-	-	1	1	1	9	305
25	1,180	43	1,137	18	127	2	16	2	35	-	9	-	1	15	652	-	-	1	1	1	6	294
26	1,202	49	1,153	20	120	1	14	2	36	-	13	-	-	19	679	-	-	1	1	-	7	289

図5 幼稚園教員(本務者)1人当たり園児数

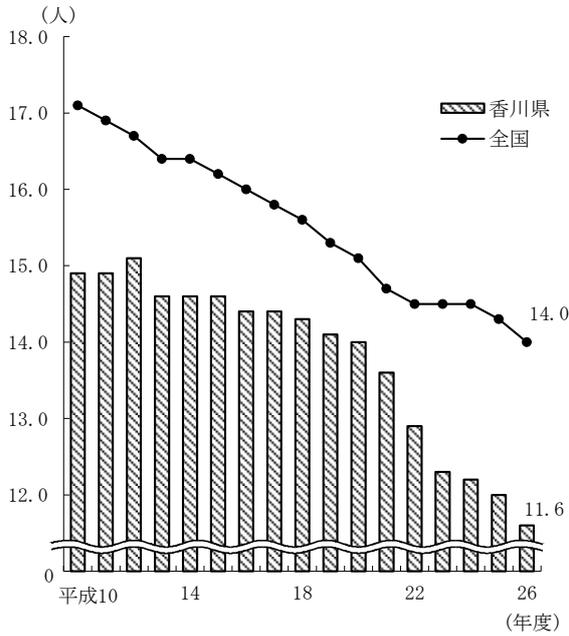
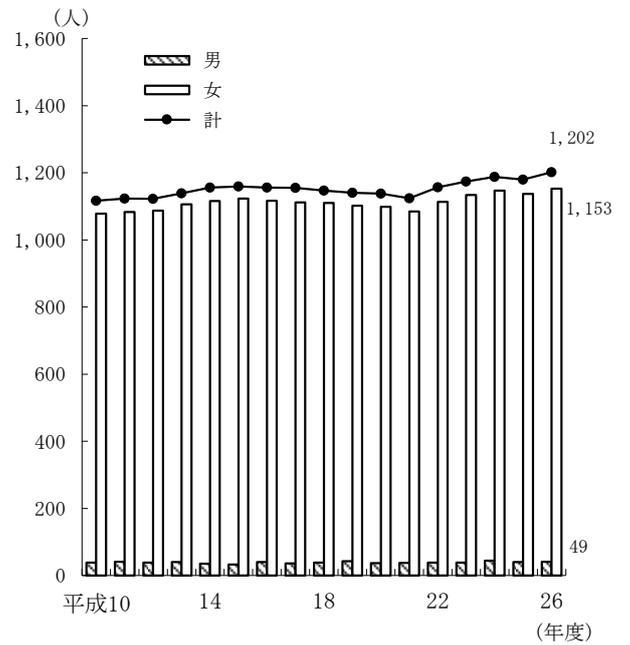


図6 幼稚園教員(本務者)の推移



(5) 職 員 数 (表5)

① 職員数(本務者)は122人(公立52人、私立70人)で、前年度より7人増加している。

表5 幼稚園の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			事務職員		養護職員		用務員・警備員 ・その他	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女
平成22年度	113	36	77	10	23	-	-	26	54
23	111	36	75	10	24	-	-	26	51
24	120	39	81	10	25	-	-	29	56
25	115	39	76	10	24	-	-	29	52
26	122	37	85	11	30	-	-	26	55

2 小 学 校

(1) 学 校 数 (表 6, 7, 8)

- ① 学校数は179校（本校177校、分校2校）で、新設校が2校、廃校が7校となっており、前年度より5校減少している。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立2校、公立177校（市立143校、町立34校）となっており、前年度より公立が5校減少している。

表 6 小学校の設置者別学校数

(単位:校)

区 分	総 数			国立 (本校)	公 立					(再掲) 公立小学校 へき地等の指定学校		
	計	本校	分校		計	市 立		町 立		計	本校	分校
						本校	分校	本校	分校			
平成 22 年度	190	187	3	2	188	150	3	35	-	22	19	3
23	187	184	3	2	185	148	3	34	-	21	18	3
24	185	183	2	2	183	147	2	34	-	19	17	2
25	184	182	2	2	182	146	2	34	-	19	17	2
26	179	177	2	2	177	141	2	34	-	17	15	2

- ③ 公立校のうち、へき地等指定学校は17校で、前年度より2校減少している。全公立校に占める割合は9.6%である。

表 7 小学校(公立)のへき地等指定学校の学校数・児童数及び教職員数

(単位:校・人)

区 分	学 校 数			児 童 数			教 員 数 (本 務 者)			負 担 法 に よ る 事 務 職 員 数 (本 務 者)		
	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校
総 数	17	15	2	583	583	-	106	106	-	6	6	-
特 別 地	3	3	-	358	358	-	44	44	-	3	3	-
準 へ き 地	1	1	-	54	54	-	9	9	-	1	1	-
1 級	7	6	1	153	153	-	39	39	-	2	2	-
2 級	5	4	1	17	17	-	11	11	-	-	-	-
3 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 級	1	1	-	1	1	-	3	3	-	-	-	-
5 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：へき地性は、特別地、準へき地、1級、2級・・・となるにつれて強くなる。

- ④ 特別支援学級を置く学校は158校（本校）で、全学校数に占める割合は88.3%となっている。
- ⑤ 学校の規模（本校のみ）を学級数で見ると、11学級以下の小規模校は83校（本校数の46.9%）、次いで12～18学級の標準校49校（同27.7%）、19学級以上の大規模校45校（同25.4%）となっている。また、県内の大規模校のうち、62.2%は高松市にある。

表8 小学校の規模別学校数（本校のみ）

(単位:校・%)

区 分	総 数		規 模 別 区 分							
			11 学級以下		12～18 学級		19～24 学級		25 学級以上	
	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合
平成 22 年度	187	100.0	101	54.0	51	27.3	23	12.3	12	6.4
23	184	100.0	97	52.7	45	24.5	26	14.1	16	8.7
24	183	100.0	93	50.8	44	24.0	29	15.8	17	9.3
25	182	100.0	92	50.5	45	24.7	27	14.8	18	9.9
26	177	100.0	83	46.9	49	27.7	29	16.4	16	9.0

(2) 学 級 数 (表9)

- ① 学級数は2,393学級で、前年度より34学級減少している。
- ② 学級数を編制方式別にみると、単式学級1,977学級（全学級数の82.6%）、複式学級13学級（同0.5%）、特別支援学級403学級（同16.8%）となっており、前年度より単式学級で31学級減少、複式学級で1学級増加、特別支援学級で4学級減少している。
- ③ 1学級当たりの児童数は22.3人で、前年度と同数である。

表9 小学校の編制方式別学級数

(単位:学級・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合
平成 22 年度	2,325	100.0	1,907	82.0	21	0.9	397	17.1
23	2,382	100.0	1,969	82.7	19	0.8	394	16.5
24	2,422	100.0	1,993	82.3	18	0.7	411	17.0
25	2,427	100.0	2,008	82.7	12	0.5	407	16.8
26	2,393	100.0	1,977	82.6	13	0.5	403	16.8

(3) 児 童 数 (図7, 表10, 11, 12, 13)

- ① 児童数は53,422人（男27,219人、女26,203人）で、前年度より694人減少（男350人、女344人）している。児童数は昭和58年度以降減少傾向が続き、本年度は過去最低を更新した。
- ② 小学校第1学年の児童数は、8,709（男4,495人、女4,214人）で、前年度より91人増加（男141人増加、女50人減少）している。

図7 小学校の推移

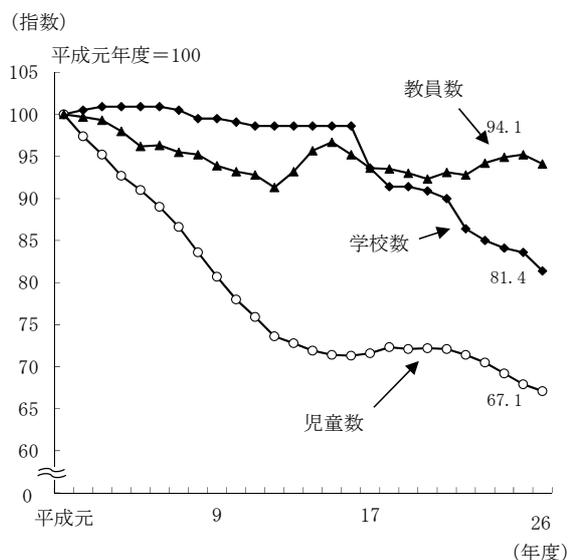


表10 小学校の児童数

(単位:人)

区 分	総 数			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
	計	国立	公立						
平成 22 年度	56,851	1,169	55,682	9,014	9,391	9,381	9,664	9,609	9,792
23	56,164	1,175	54,989	9,099	9,029	9,390	9,382	9,673	9,591
24	55,155	1,136	54,019	8,594	9,095	9,037	9,396	9,374	9,659
25	54,116	1,097	53,019	8,618	8,592	9,079	9,058	9,399	9,370
26	53,422	1,067	52,355	8,709	8,612	8,623	9,069	9,017	9,392
内訳 男	27,219	529	26,690	4,495	4,340	4,299	4,614	4,618	4,853
女	26,203	538	25,665	4,214	4,272	4,324	4,455	4,399	4,539

- ③ 編制方式別にみると、単式学級の児童が52,244人で、全児童数に占める割合は97.8%となっている。

表11 小学校の編制方式別児童数

(単位:人・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
平成 22 年度	56,851	100.0	55,760	98.1	141	0.2	950	1.7
23	56,164	100.0	55,081	98.1	110	0.2	973	1.7
24	55,155	100.0	54,033	98.0	80	0.1	1,042	1.9
25	54,116	100.0	52,993	97.9	66	0.1	1,057	2.0
26	53,422	100.0	52,244	97.8	71	0.1	1,107	2.1

- ④ 特別支援学級の児童数は1,107人で、前年度より50人増加している。この内訳は、知的障害が510人(特別支援学級全児童数の46.1%)、情緒障害471人(同42.5%)等となっている。

表12 小学校の種類別特別支援学級児童数

(単位:人・%)

区 分	総 数		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		弱 視		難 聴		言語障害		情緒障害	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
平成 22 年度	950	100.0	477	50.2	66	6.9	34	3.6	11	1.2	31	3.3	-	-	331	34.8
23	973	100.0	462	47.5	59	6.1	35	3.6	11	1.1	29	3.0	-	-	377	38.7
24	1,042	100.0	500	48.0	60	5.8	46	4.4	11	1.1	29	2.8	-	-	396	38.0
25	1,057	100.0	510	48.2	59	5.6	39	3.7	9	0.9	27	2.6	-	-	413	39.1
26	1,107	100.0	510	46.1	48	4.3	43	3.9	7	0.6	28	2.5	-	-	471	42.5

- ⑤ 外国人児童数は163人で、前年度より16人増加している。
 ⑥ 帰国児童数は14人で、前年度より9人減少している。
 ⑦ 長期欠席児童数(前年度間に30日以上欠席)は362人で、全児童数の0.67%に当たり、前年度より18人減少している。理由別内訳をみると、不登校141人(長期欠席児童数の39.0%)、病気によるもの118人(同32.6%)、その他103人(同28.5%)となっている。

表13 小学校の理由別長期欠席児童数

(単位:人・%)

区 分	総 数		病 気		経済的理由		不 登 校		そ の 他	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
平成 21 年度間	343	0.60	114	0.20	-	-	131	0.23	98	0.17
22	349	0.61	125	0.22	-	-	130	0.23	94	0.17
23	350	0.62	103	0.18	-	-	129	0.23	118	0.21
24	380	0.70	156	0.29	-	-	136	0.25	88	0.16
25	362	0.67	118	0.22	-	-	141	0.26	103	0.19

注：割合は、当該年度の全児童数に対するものである。

(4) 教 員 数 (表14, 図8, 9, 10)

① 教員数(本務者)は3,663人(男1,217人、女2,446人)で、前年度より42人減少(男13人、女29人)している。

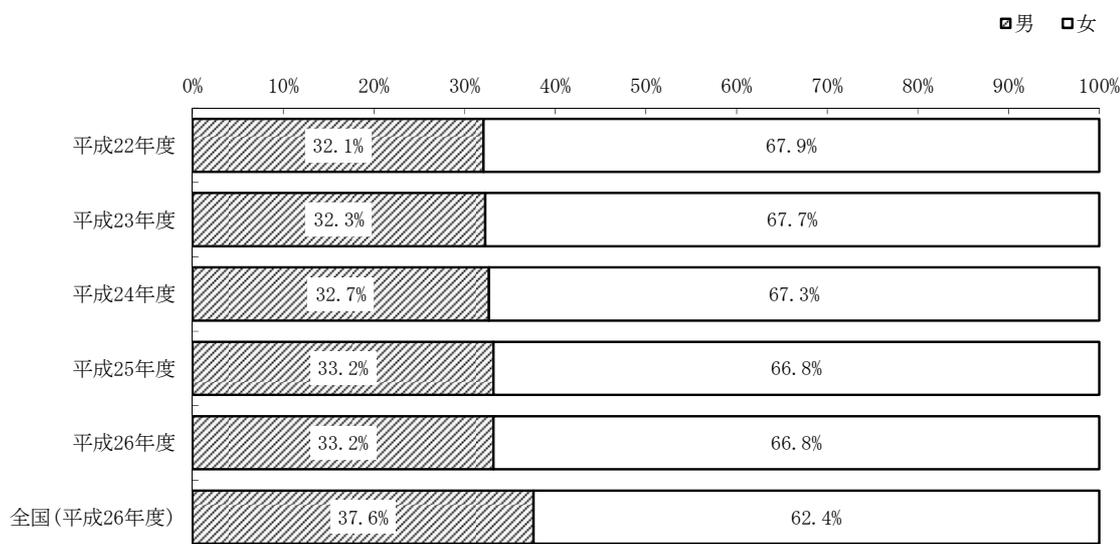
表14 小学校の職名別教員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指 導 教 諭		教 諭		養護教諭	養護助教諭	栄養教諭		講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女
平成 22 年度	3,609	1,158	2,451	130	48	-	1	157	56	10	1	-	-	798	1,857	154	46	3	32	60	256
23	3,667	1,184	2,483	137	37	1	1	154	56	10	1	-	10	810	1,854	156	45	3	44	69	279
24	3,693	1,209	2,484	140	33	1	1	157	53	10	2	-	15	824	1,874	155	47	3	48	74	256
25	3,705	1,230	2,475	145	27	1	1	158	55	11	1	2	23	832	1,866	162	37	3	53	78	250
26	3,663	1,217	2,446	142	27	1	1	159	48	9	2	2	27	827	1,849	161	37	2	50	75	244

② 教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は66.8%で前年度と同数である。また、全国平均は62.4%で、女性教員の占める割合で本県は全国第5位となっている。

図8 小学校本務教員の男女比率



③ 本務教員1人当たりの児童数は14.6人で、前年度と同数である。また、全国平均は15.8人となっている。

図9 小学校教員(本務者)1人当たり児童数

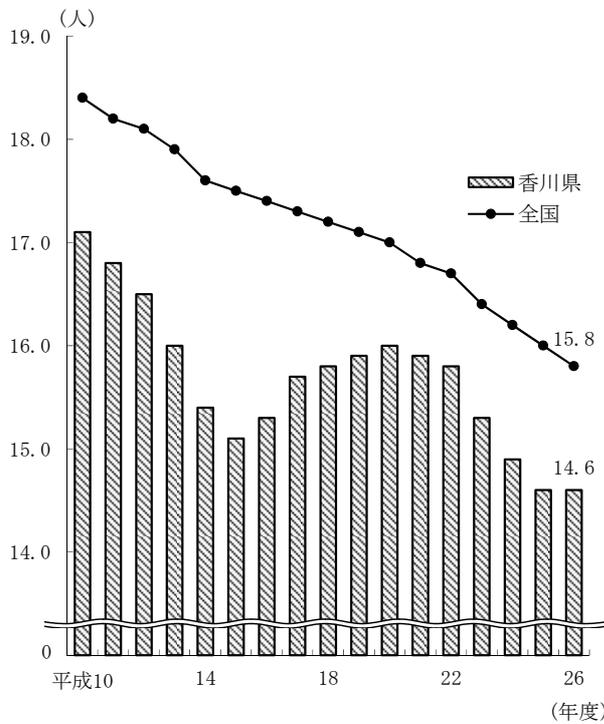
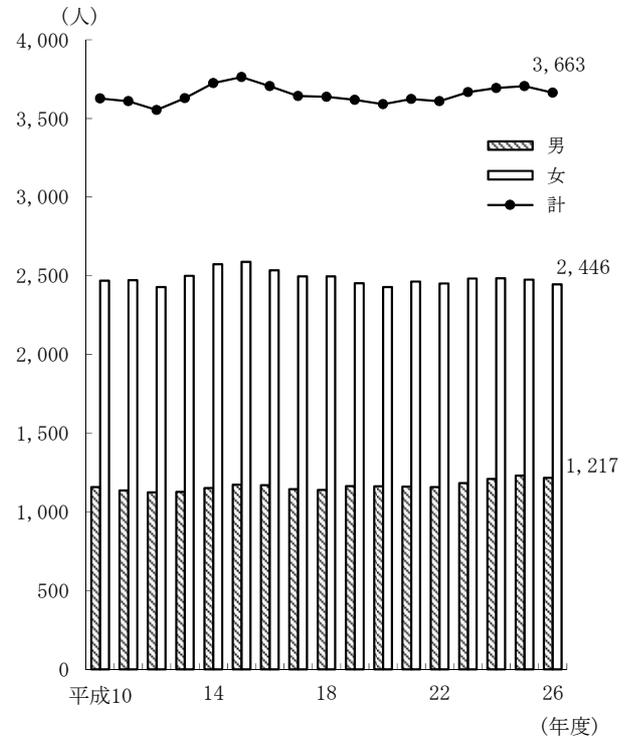


図10 小学校教員(本務者)の推移



(5) 職員数(表15)

① 職員数(本務者)は605人(男106人、女499人)で、前年度より33人減少(男7人、女26人)している。

表15 小学校の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区分	総数			負担法による者						その他の者										
				事務職員		学校栄養職員		14表以外の教員		事務職員		学校図書館事務職員		養護職員		学校給食調理従事員		用務員		警備員・その他
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
平成22年度	661	114	547	15	177	-	28	12	34	2	8	-	5	1	26	155	55	108	4	31
23	653	109	544	18	176	-	16	8	39	2	8	-	9	-	33	145	44	108	4	43
24	638	114	524	19	176	1	13	10	25	2	7	-	2	-	34	141	40	101	8	59
25	638	113	525	20	173	2	9	11	39	2	7	1	3	-	35	134	34	99	8	61
26	605	106	499	16	172	-	11	10	18	2	8	1	3	-	36	124	34	93	7	70

注:「14表以外の職員」とは、教員として発令されているが、関係諸法令に定める条件を満たさず市町村費により給与が支給されている者をいう。

3 中 学 校

(1) 学 校 数 (表 16, 17, 18)

- ① 学校数は79校（本校79校）で、新設校が1校、廃校が3校（本校3校廃校）となっており、前年度より2校減少している。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立2校、公立72校（県立1校、市立58校、町立12校、組合立1校）、私立5校となっており、公立校が前年度より2校減少した。

表 16 中学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			国立 (本校)	公 立						私立 (本校)	(再掲) 公立中学校 へき地等の指定学校			
					計	県立 (本校)	市 立		町 立			組合立 (本校)	計	本校	分校
	本校	分校	本校				分校								
平成22年度	84	84	-	2	77	2	60	-	14	-	1	5	12	12	-
23	82	82	-	2	75	1	60	-	13	-	1	5	11	11	-
24	82	82	-	2	75	1	60	-	13	-	1	5	11	11	-
25	81	81	-	2	74	1	59	-	13	-	1	5	11	11	-
26	79	79	-	2	72	1	58	-	12	-	1	5	9	9	-

- ③ 公立校のうち、へき地等指定学校は9校で、前年度より2校減少した。全公立校に占める割合は12.5%であり、前年度より2.4ポイント低下している。

表 17 中学校(公立)のへき地等指定学校の学校数・生徒数及び教職員数

(単位：校・人)

区 分	学 校 数			生 徒 数			教員数 (本務者)			負担法による事務 職員数 (本務者)		
	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校
総 数	9	9	-	115	115	-	49	49	-	3	3	-
特 別 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準へき地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 級	5	5	-	103	103	-	40	40	-	2	2	-
2 級	3	3	-	12	12	-	9	9	-	1	1	-
3 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 級	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：へき地性は、特別地、準へき地、1級、2級・・・となるにつれて強くなる。

- ④ 特別支援学級を置く学校は63校(本校)で、全学校数に占める割合は79.7%となっている。
- ⑤ 学校の規模(本校のみ)を学級数で見ると、11学級以下の小規模校は33校(本校数の41.8%)、12~18学級の標準校28校(同35.4%)、19学級以上の大規模校18校(同22.8%)となっている。また、県内の大規模校のうち、77.8%は高松市にある。

表18 中学校の規模別学校数（本校のみ）

(単位:校・%)

区 分	総 数		規 模 別 区 分							
			5 学級以下		6～11 学級		12～18 学級		19 学級以上	
	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合
平成 22 年度	84	100.0	20	23.8	25	29.8	23	27.4	16	19.0
23	82	100.0	18	22.0	26	31.7	19	23.2	19	23.2
24	82	100.0	20	24.4	20	24.4	24	29.3	18	22.0
25	81	100.0	19	23.5	18	22.2	27	33.3	17	21.0
26	79	100.0	16	20.3	17	21.5	28	35.4	18	22.8

(2) 学 級 数 (表19)

- ① 学級数は1,008学級で、前年度より3学級増加している。
- ② 学級数を編制方式別にみると、単式学級850学級（全学級数の84.3%）、複式学級0学級（同0%）、特別支援学級158学級（同15.7%）となっており、前年度より単式学級では7学級の減少、複式学級は同数、特別支援学級は10学級増加している。
- ③ 1学級当たりの生徒数は28.1人で、前年度より0.5人減少している。

表19 中学校の編制方式別学級数

(単位:学級・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合
平成 22 年度	965	100.0	828	85.8	1	0.1	136	14.1
23	987	100.0	841	85.2	1	0.1	145	14.7
24	990	100.0	855	86.4	1	0.1	134	13.5
25	1,005	100.0	857	85.3	-	-	148	14.7
26	1,008	100.0	850	84.3	-	-	158	15.7

(3) 生 徒 数 (図11, 表20, 21, 22)

図 11 中学校の推移

- ① 生徒数は28,371人（男14,511人、女13,860人）で、前年度より408人減少（男227人、女181人）している。生徒数は昭和63年度以降減少傾向が続き、平成22年度に過去最低となった後、3年連続で増加したが、本年度は減少となった。
- ② 中学校第1学年の生徒数は、9,281人（男4,736人、女4,545人）で、前年度より314人減少（男208人、女106人）している。

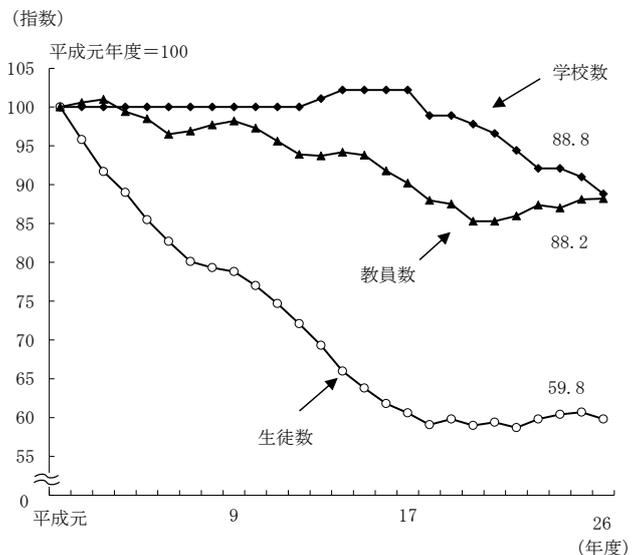


表20 中学校の生徒数

(単位:人)

区 分	総 数				1 学年	2 学年	3 学年
	計	国立	公立	私立			
平成 22 年度	27,844	721	26,389	734	9,456	9,283	9,105
23	28,370	714	26,847	809	9,674	9,427	9,269
24	28,654	724	27,023	907	9,545	9,676	9,433
25	28,779	721	27,114	944	9,595	9,516	9,668
26	28,371	722	26,714	935	9,281	9,577	9,513
内訳 男	14,511	388	13,667	456	4,736	4,931	4,844
女	13,860	334	13,047	479	4,545	4,646	4,669

- ③ 編制方式別生徒数をみると、単式学級の生徒数は27,941人で、全生徒数に占める割合は98.5%となっている。
- ④ 特別支援学級の生徒数は430人で、前年度より41人増加している。この内訳をみると、知的障害が207人（特別支援学級全生徒数の48.1%）、情緒障害174人（同40.5%）等となっている。

表21 中学校の種類別特別支援学級生徒数

(単位:人・%)

区 分	総 数		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		弱 視		難 聴		情緒障害	
	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合
平成 22 年度	244	100.0	132	54.1	17	7.0	8	3.3	2	0.8	8	3.3	77	31.6
23	288	100.0	153	53.1	21	7.3	10	3.5	4	1.4	9	3.1	91	31.6
24	301	100.0	174	57.8	17	5.6	4	1.3	3	1.0	7	2.3	96	31.9
25	389	100.0	201	51.7	16	4.1	11	2.8	4	1.0	9	2.3	148	38.0
26	430	100.0	207	48.1	23	5.3	16	3.7	3	0.7	7	1.6	174	40.5

- ⑤ 外国人生徒数は67人で、前年度より10人増加している。
- ⑥ 帰国生徒数は4人で、前年度より4人増加している。
- ⑦ 長期欠席生徒数（前年度間に30日以上欠席）は956人で、全生徒数の3.32%に当たり、前年度より12人増加している。理由別内訳をみると、不登校によるもの829人（長期欠席生徒数の86.7%）、病気72人（同7.5%）、その他55人（同5.8%）となっている。

表22 中学校の理由別長期欠席生徒数

(単位:人・%)

区 分	総 数		病 気		経済的理由		不 登 校		そ の 他	
	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合
平成 21 年度間	1,093	3.88	85	0.30	-	-	918	3.26	90	0.32
22	1,047	3.76	75	0.27	-	-	897	3.22	75	0.27
23	1,029	3.63	58	0.20	-	-	921	3.25	50	0.18
24	944	3.29	80	0.28	-	-	818	2.85	46	0.16
25	956	3.32	72	0.25	-	-	829	2.88	55	0.19

注：割合は、当該年度の全生徒数に対するものである。

(4) 教 員 数 (表23, 図12, 13, 14)

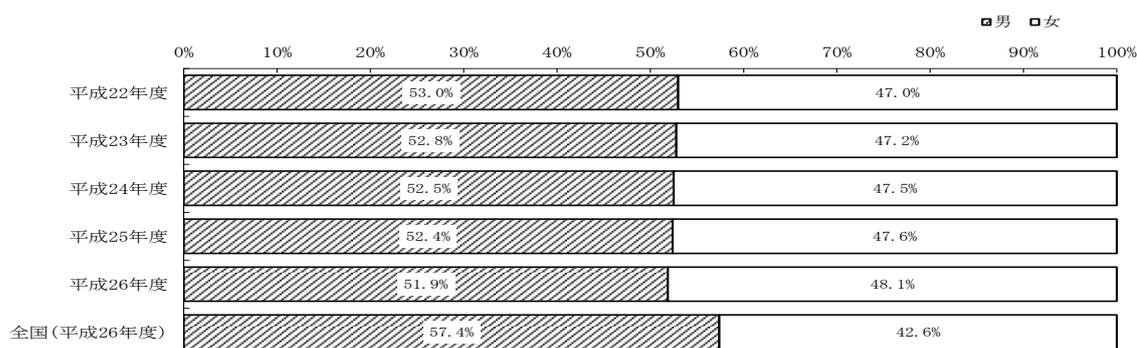
- ① 教員数(本務者)は2,183人(男1,133人、女1,050人)で、前年度より4人増加(男8人減少、女12人増加)している。
- ② 教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は48.1%で、前年度より0.5ポイント上昇している。また、全国平均は42.6%で、女性教員の占める割合で本県は全国第4位となっている。

表23 中学校の職名別教員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指導教諭		教 諭		助教諭		養護教諭	養護助教諭	栄養教諭		講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女
平成22年度	2,127	1,127	1,000	67	4	3	-	115	5	6	-	1	-	867	777	1	-	65	12	-	16	67	121
23	2,162	1,142	1,020	68	2	2	-	112	8	7	-	-	-	871	777	-	-	65	11	-	22	82	135
24	2,152	1,130	1,022	68	2	2	-	114	8	7	-	-	-	861	799	-	-	65	11	-	22	78	115
25	2,179	1,141	1,038	67	1	2	-	112	9	7	-	8	13	859	799	-	-	66	10	-	22	86	118
26	2,183	1,133	1,050	67	1	2	-	109	12	7	-	10	14	850	813	-	-	67	11	-	22	88	110

図12 中学校本務教員の男女比率



- ③ 本務教員1人当たりの生徒数は13.0人で、前年度より0.2人減少している。また、全国平均は13.8人となっている。

図13 中学校教員(本務者)1人当たり生徒数

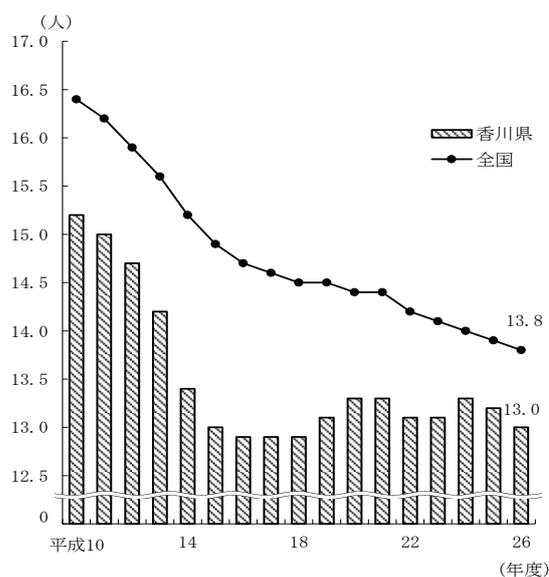
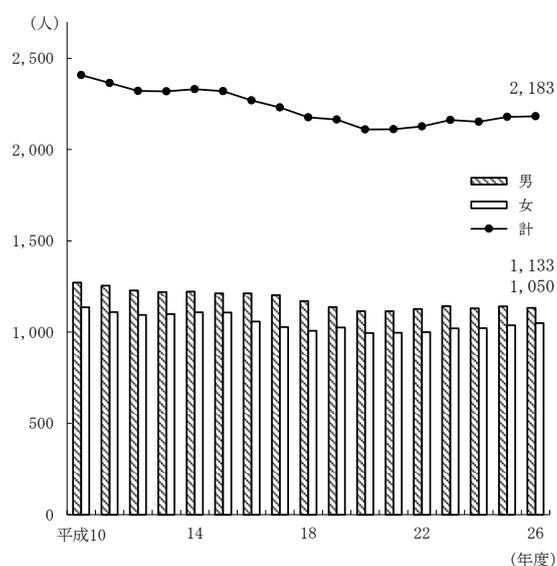


図14 中学校教員(本務者)の推移



(5) 職 員 数 (表24)

- ① 職員数(本務者)は293人(男85人、女208人)で、前年度より2人増加(男12人増加、女10人減少)している。

表24 中学校の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			負担法による者				そ の 他 の 者											
				事務職員		学校栄養職員		23表以外の教員		事務職員		学 校 図書館 事務員	学 校 栄 養 職 員	学 校 給 食 調 理 従 事 員	用 務 員		警 備 員 ・その他		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女	男	女
平成22年度	293	63	230	7	77	-	14	13	21	5	17	1	-	8	51	24	40	6	9
23	306	72	234	7	76	-	7	14	31	5	19	1	-	10	51	24	40	12	9
24	315	75	240	6	77	1	9	14	29	4	19	1	-	11	54	21	40	18	11
25	291	73	218	7	77	1	6	13	14	3	20	1	-	12	49	21	38	16	13
26	293	85	208	13	70	1	6	13	11	3	20	2	-	12	48	24	35	19	16

注:「23表以外の教員」とは、教員として発令されているが、関係諸法令に定める条件を満たさず市町村費により給与が支給されている者をいう。

4 高等学校

(1) 学 校 数 (表 25, 26, 図 15)

- ① 学校数は42校（本校42校）で、新設校及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立32校（県立31校、市立1校）、私立10校となっており、前年度と同じ構成である。

表25 高等学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			公 立				私 立 (本校)
	計	本 校	分 校	計	県 立		市 立 (本校)	
					本 校	分 校		
平成 22 年度	42	42	-	32	31	-	1	10
23	42	42	-	32	31	-	1	10
24	42	42	-	32	31	-	1	10
25	42	42	-	32	31	-	1	10
26	42	42	-	32	31	-	1	10

- ③ 学校数を課程別にみると、全日制課程のみの学校32校（県立21校、市立1校、私立10校）、全日制・定時制の両課程を併置している学校10校（県立）となっている。
- ④ 学校の規模を生徒数でみると、全日制課程の学校42校（定時制課程併置校については全日制課程のみを対象）のうち、500人以下は16課程、501～1,000人は25課程、1,001人以上は1課程となっている。
- ⑤ 定時制課程の学校10校（全日制課程に併置されている学校において、定時制課程のみを対象）では、1～50人が6課程、51～100人が4課程となっている。
- ⑥ 学校数を配置されている学科数でみると、単独校（1学科のみの学校）21校、総合校（2学科以上の学校）21校となっている。
- ⑦ 単独校では、普通科の学校が17校で一番多く、次いで工業科2校、農業科、総合学科がそれぞれ1校となっている。
- ⑧ 総合校では、普通科と職業科1学科を併置している学校が9校、職業科のみ2学科以上の学校7校、普通科と職業科2学科以上を併置している学校3校、普通科と職業科と総合学科を併置している学校1校、職業科と総合学科を併置している学校1校となっている。
- ⑨ 男女共学別では、全ての学校で共学となっている。
- ⑩ 専攻科のある学校は5校（公立3校、私立2校）となっている。

図 15 単独・総合校数構成比

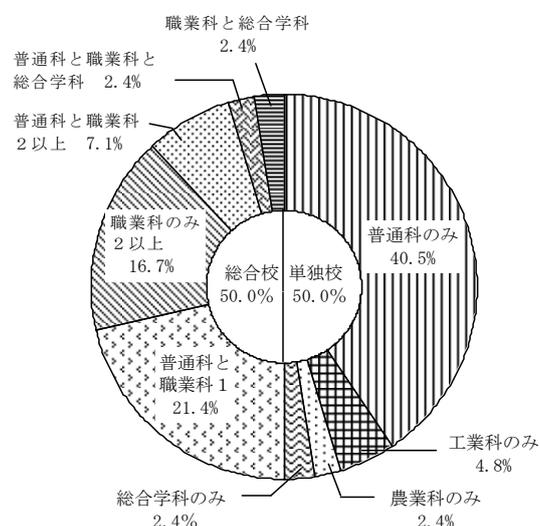


表26 高等学校の単独・総合別学校数

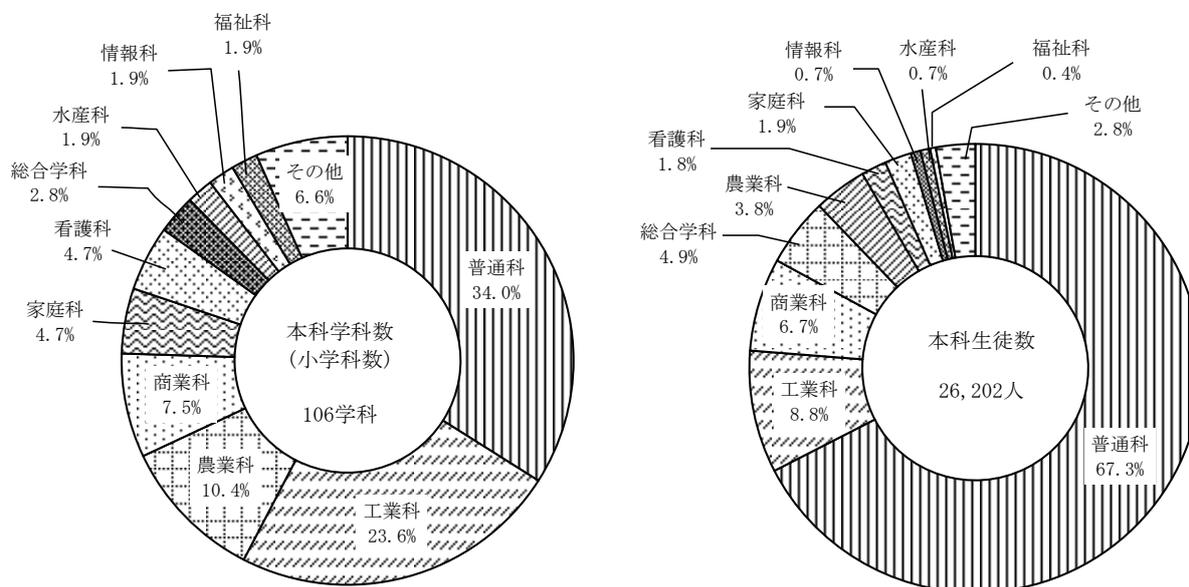
(単位：校)

区 分	総数	単 独 校							総 合 校								
		計	普通科		農業	工業	商業	水産	総合	計	普通科と職業科1		普通科と職業科2以上		職業科2以上	普通科と職業科と総合学科	職業科と総合学科
			公立	私立							公立	私立	公立	私立			
平成22年度	43	21	13	4	1	2	-	-	1	21	5	4	1	2	7	1	1
23	42	21	13	4	1	2	-	-	1	21	5	4	1	2	7	1	1
24	42	21	13	4	1	2	-	-	1	21	5	4	1	2	7	1	1
25	42	21	13	4	1	2	-	-	1	21	5	4	1	2	7	1	1
26	42	21	13	4	1	2	-	-	1	21	5	4	1	2	7	1	1

(2) 学 科 数 (図16)

- ① 学科数(本科小学科数)は106学科(全日制93学科、定時制13学科)で、前年度より1学科減少している。
- ② 学科別にみると、普通科36学科(全学科数の34.0%)が最も多く、次いで工業に関する学科25学科(同23.6%)、農業に関する学科11学科(同10.4%)、商業に関する学科8学科(同7.5%)、家庭に関する学科、看護に関する学科がそれぞれ5学科(同4.7%)、総合学科3学科(同2.8%)、水産に関する学科、情報に関する学科、福祉に関する学科がそれぞれ2学科(同1.9%)、その他7学科(同6.6%)となっている。

図 16 高等学校(本科)の学科数及び学科別生徒数の構成比



(3) 生 徒 数 (表27, 28)

- ① 生徒数は26,472人(男13,248人、女13,224人)で、前年度より489人増加(男301人、女188人)している。生徒数は平成3年度以降減少傾向であったが、平成21年度からはほぼ横ばいで推移している。

また、全生徒のうち、本科の生徒数は26,202人、専攻科の生徒数は270人となっている。

- ② 全日制課程の生徒数は26,083人で、前年度より509人増加している。
また、定時制課程の生徒数は389人で、前年度より20人減少している。

表27 高等学校の学年別生徒数

(単位：人)

区 分	総 数						(再掲) うち全日制				
	計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	専攻科	計	1 学年	2 学年	3 学年	専攻科
平成 22 年度	26,194	9,089	8,317	8,438	101	249	25,704	8,959	8,189	8,307	249
23	25,965	8,603	8,830	8,158	110	264	25,491	8,496	8,693	8,038	264
24	26,111	8,719	8,406	8,648	92	246	25,664	8,595	8,297	8,526	246
25	25,983	8,956	8,505	8,203	83	236	25,574	8,843	8,393	8,102	236
26	26,472	9,094	8,710	8,322	76	270	26,083	8,985	8,611	8,217	270

- ③ 本科の生徒数を学科別にみると、普通科17,629人（本科の生徒数の67.3%）、工業に関する学科2,314人（同8.8%）、商業に関する学科1,751人（同6.7%）、総合学科1,294人（同4.9%）、農業に関する学科1,004人（同3.8%）、家庭に関する学科508人（同1.9%）、看護に関する学科481人（同1.8%）、情報に関する学科183人（同0.7%）、水産に関する学科179人（同0.7%）、福祉に関する学科116人（同0.4%）、その他743人（同2.8%）となっている。

表28 高等学校の学科別生徒数（本科）

(単位：人)

区 分	総 数			公 立						私 立		
				計	全 日 制		定 時 制		計	全 日 制		
	計	男	女		男	女	男	女		男	女	
総 数	26,202	13,209	12,993	20,167	9,482	10,296	247	142	6,035	3,480	2,555	
普 通 科	17,629	8,863	8,766	12,523	5,586	6,690	143	104	5,106	3,134	1,972	
職 業 科	農業科	1,004	645	359	1,004	645	359	-	-	-	-	-
	工業科	2,314	1,871	443	2,314	1,780	424	91	19	-	-	-
	商業科	1,751	710	1,041	1,331	458	841	13	19	420	239	181
	水産科	179	165	14	179	165	14	-	-	-	-	-
	家庭科	508	64	444	301	-	301	-	-	207	64	143
	看護科	481	55	426	205	15	190	-	-	276	40	236
	情報科	183	112	71	183	112	71	-	-	-	-	-
	福祉科	116	21	95	90	18	72	-	-	26	3	23
	その他	743	276	467	743	276	467	-	-	-	-	-
総 合 学 科	1,294	427	867	1,294	427	867	-	-	-	-	-	

- ④ 外国人生徒数は26人で、前年度より10人減少している。
⑤ 入学状況（本科）をみると、入学志願者数は定時制課程を含め延べ26,172人で、前年度より705人増加している。
⑥ 入学定員（本科）は10,799人で、入学志願者数をこの入学定員数で割った競争率は、2.42倍となっている。内訳は、公立1.38倍、私立4.62倍である。

⑦ 入学者（本科）は9,054人（全日制課程8,950人、定時制課程104人）で、前年度より144人増加している。

(4) 教員数（表29, 図17, 18）

① 教員数（本務者）は2,166人（公立1,677人、私立489人）で、前年度より13人増加（男1人、女12人増加）している。

② 教員数（本務者）のうち女性教員の占める割合は38.7%で、前年度より0.3ポイント上昇している。また、全国平均は31.0%で、女性教員の占める割合で本県は全国第4位となっている。

表29 高等学校の職名別教員数（本務者）

(単位：人)

区分	総数			校長		副校長		教頭		主幹教諭		教諭		助教諭		養護教諭	養護助教諭	講師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女
平成22年度	2,161	1,374	787	39	3	3	-	92	3	7	-	1,172	643	-	7	46	7	61	78
23	2,159	1,366	793	40	2	2	-	93	3	8	-	1,157	668	1	10	45	8	65	57
24	2,175	1,366	809	39	3	2	-	92	3	8	1	1,153	679	1	10	46	8	71	59
25	2,153	1,327	826	38	4	2	-	90	2	7	2	1,127	689	1	9	43	11	62	66
26	2,166	1,328	838	39	3	1	-	89	4	7	2	1,119	692	1	10	43	10	72	74

③ 本務教員1人当たりの生徒数は12.2人で、前年度より0.1人増加している。なお、全国平均は14.2人となっている。

図17 高等学校教員（本務者）1人当たり生徒数

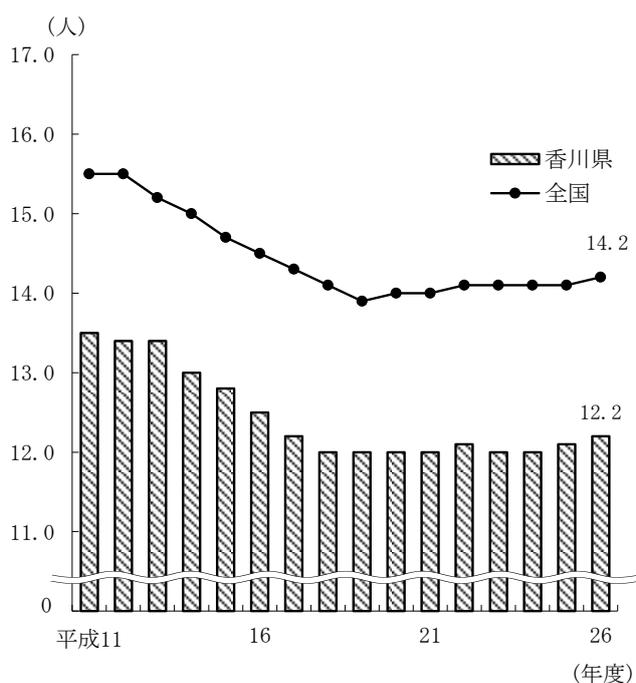
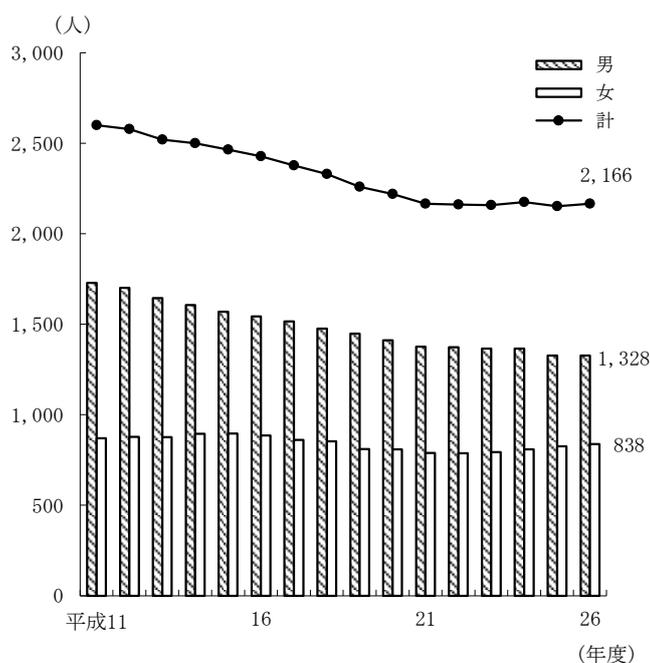


図18 高等学校教員（本務者）の推移



(5) 職員数(表30)

- ① 職員数(本務者)は462人(公立350人、私立112人)で、前年度より1人増加している。

表 30 高等学校の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区分	総数			事務職員				学校 図書館 事務員		技術職員		実習助手		養護 職員	用務員		警備員・ その他	
				主事・主 事補等		その他												
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女
平成22年度	479	240	239	40	83	23	39	1	7	3	1	85	76	1	60	18	28	14
23	474	251	223	54	80	26	40	2	7	4	1	86	71	1	53	9	26	14
24	476	254	222	53	81	29	40	3	5	4	1	84	71	1	53	9	28	14
25	461	251	210	56	79	26	41	4	3	6	1	85	70	1	52	7	22	8
26	462	249	213	53	80	25	40	5	4	6	1	84	70	1	52	9	24	8

(6) 高等学校通信制課程

- ① 通信制課程を置く学校は5校であり、普通科のみである。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立2校、私立3校(うち独立校2校)となっている。
- ③ 在学者数は741人(男377人、女364人)で、前年度より14人減少(男13人増加、女27人減少)している。
- ④ 平成26年度(当該年度)の入学者は193人(男109人、女84人)で、前年度より15人増加(男11人、女4人)している。

平成25年度間(前年度間)の入学者は234人(男126人、女108人)で、平成24年度間(前々年度間)より22人減少(男4人増加、女26人減少)している。

- ⑤ 教員数は89人(本務者45人、兼務者44人(校内34人、その他10人))で、前年度より5人減少している。

職員数(本務者)は9人(男4人、女5人)で、前年度と同数である。

5 特別支援学校

(1) 学 校 数

- ① 学校数は9校で、新設校及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立1校、県立8校となっており、前年度と同じ構成である。

(2) 学 級 数 (表 31)

- ① 学級数は337学級で、前年度より5学級増加している。

(3) 在 学 者 数 (表 31, 32)

- ① 在学者数は1,140人（男727人、女413人）で、前年度より18人増加している。

表31 特別支援学校の学級数及び在学者数

(単位：学級・人)

区 分	学級数	在 学 者 数			在学者数の推移			
		総数	男	女	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総 数	337	1,140	727	413	1,098	1,124	1,113	1,122
幼 稚 部	6	17	12	5	16	14	17	18
小 学 部	119	302	199	103	291	303	299	304
中 学 部	100	347	224	123	325	314	325	316
高 等 部	112	474	292	182	466	493	472	484

- ② 障害種別内訳をみると、知的障害が482人（在学者総数の42.3%）、病弱・身体虚弱が59人（同5.2%）、視覚障害が19人（同1.7%）、聴覚障害が18人（同1.6%）、肢体不自由が9人（同0.8%）、その他が553人（同48.5%）となっている。

表 32 特別支援学校の障害種別学級数及び在学者数

(単位：学級・人)

区 分	総 数		視覚障害		聴覚障害		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		その他	
	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数
総 数	337	1,140	9	19	10	18	94	482	5	9	15	59	204	553
幼稚部	6	17	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	4	7
小学部	119	302	-	-	5	8	23	59	1	1	5	10	85	224
中学部	100	347	2	3	2	3	29	146	2	5	4	15	61	175
高等部	112	474	7	16	3	7	40	267	2	3	6	34	54	147

注：その他とは、複数の障害種別の組合せである。

(4) 通 学 状 況 (表 33)

- ① 在学者の通学状況をみると、家庭からが983人（在学者総数の86.2%）、寄宿舎からが68人（同6.0%）、児童福祉施設からが61人（同5.4%）、その他の医療機関からが15人（同1.3%）、重症心身障害児病棟からが13人（同1.1%）となっている。

表33 特別支援学校の通学状況

(単位：人・%)

区 分	総 数		寄 宿 舎		家 庭 (下宿を含む)		児 童 福 祉 施 設		重 症 心 身 障 害 児 病 棟		そ の 他 の 医 療 機 関	
	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合
総 数	1,140	100.0	68	6.0	983	86.2	61	5.4	13	1.1	15	1.3
幼 稚 部	17	100.0	-	-	17	100.0	-	-	-	-	-	-
小 学 部	302	100.0	4	1.3	268	88.7	16	5.3	8	2.6	6	2.0
中 学 部	347	100.0	28	8.1	294	84.7	20	5.8	3	0.9	2	0.6
高 等 部	474	100.0	36	7.6	404	85.2	25	5.3	2	0.4	7	1.5

(5) 教 員 数 (表 34)

- ① 教員数(本務者)は757人(男261人、女496人)で、前年度より23人増加(男9人、女14人)している。
- ② 在学者数を本務教員数で割った本務教員1人当たりの在学者数は1.5人で、前年度と同数である。

表34 特別支援学校の職名別教員数(本務者)

(単位：人)

総 数			校 長		教 頭		主 幹 教 諭		指 導 教 諭		教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	
計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	女	男	女
757	261	496	6	2	9	6	1	-	-	1	209	402	9	2	3	36	71

(6) 職 員 数 (表35)

- ① 職員数(本務者)は124人(男40人、女84人)で、前年度より7人減少(男4人増加、女11人減少)している。

表35 特別支援学校の職名別職員数(本務者)

(単位：人)

総 数			負担法による者					そ の 他 の 者											
			事務職員		寄 宿 舎 指 導 員		学 校 栄 養 職 員	事務職員		実 習 助 手		養 護 職 員	学 校 栄 養 職 員	学 校 給 食 調 理 従 事 員		用 務 員		警 備 員 ・ そ の 他	
計	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女	男	女
124	40	84	10	20	9	40	-	1	1	13	7	10	2	-	-	7	1	-	3

6 専修学校

(1) 学 校 数 (表 36)

- ① 学校数は27校で、新設校が2校、廃校はなく、前年度より2校増加している。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立1校、私立26校（学校法人立4校、準学校法人立13校、社団法人立3校、その他の法人立4校、個人立2校）となっており、前年度よりその他の法人立が2校増加している。
- ③ 類型別にみると、高等課程を置く学校が4校、専門課程を置く学校が26校となっている。

表36 専修学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数	国 立	公 立 (県立)	私 立				
				学 校 法人立	準学校 法人立	社 団 法人立	その他の 法 人 立	個 人 立
平成 22 年度	28	-	2	2	17	3	2	2
23	27	-	1	2	17	3	2	2
24	25	-	1	3	14	3	2	2
25	25	-	1	4	13	3	2	2
26	27	-	1	4	13	3	4	2

(2) 学 科 数 (表37, 39)

- ① 学科数は80学科で、前年度と同数である。
- ② 課程別にみると、高等課程4学科、専門課程75学科、一般課程1学科となっている。
- ③ 学科別にみると、医療関係22学科(全学科数の27.5%)、文化・教養関係18学科(同22.5%)、商業実務関係、工業関係、服飾・家政関係、教育・社会福祉関係がそれぞれ8学科(同10.0%)、衛生関係7学科(同8.8%)、農業関係1学科(同1.3%)となっている。

表37 専修学校の現況

(単位：学科・人)

区 分	学 科 数			生 徒 数			教 員 数 (本務者)			職 員 数 (本務者)
	計	昼間	その他	計	男	女	計	男	女	
平成 22 年度	89	81	8	4,906	2,369	2,537	371	174	197	151
23	79	72	7	4,891	2,368	2,523	366	169	197	143
24	79	72	7	4,852	2,350	2,502	364	166	198	150
25	80	73	7	4,923	2,402	2,521	356	163	193	143
26	80	73	7	4,782	2,219	2,563	372	152	220	148

(3) 生 徒 数 (表37, 38, 39, 図19)

- ① 生徒数は4,782人（男2,219人、女2,563人）で、前年度より141人減少（男183人減少、女42人増加）している。
- ② 課程別にみると、高等課程が183人（全生徒数の3.8%）、専門課程が3,726（77.9%）、一般課程が873人（同18.3%）となっている。

③ 学科別にみると、医療関係2,258人（全生徒数の47.2%）が最も多く、次いで文化・教養関係1,331人（同27.8%）、商業実務関係304人（同6.4%）、衛生関係285人（同6.0%）、工業関係278人（同5.8%）、教育・社会福祉関係230人（同4.8%）、農業関係55人（同1.2%）、服飾・家政関係41人（同0.9%）となっている。

④ 男女別・学科別に主なものをみると、男は、文化・教養関係のうち受験・補習625人、医療関係のうち理学・作業療法265人、医療関係のうち看護209人、工業関係のうち情報処理162人が多く、女は、医療関係のうち看護747人、文化・教養関係のうち受験・補習248人、医療関係のうち歯科衛生222人、医療関係のうち理学・作業療法174人となっている。

図 19 専修学校の学科別生徒数の構成比

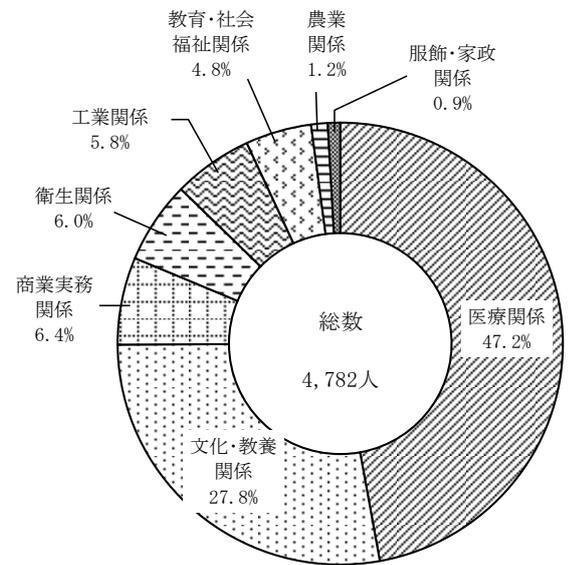


表38 専修学校の学科別生徒数

(単位：人，()内は%)

区分	総数	医療関係	文化・教養関係	工業関係	商業実務関係	教育・社会福祉関係	衛生関係	農業関係	服飾・家政関係
総数	4,782 (100.0)	2,258 (47.2)	1,331 (27.8)	278 (5.8)	304 (6.4)	230 (4.8)	285 (6.0)	55 (1.2)	41 (0.9)
男	2,219 (100.0)	851 (38.4)	807 (36.4)	243 (11.0)	73 (3.3)	108 (4.9)	99 (4.5)	37 (1.7)	1 (0.04)
女	2,563 (100.0)	1,407 (54.9)	524 (20.4)	35 (1.4)	231 (9.0)	122 (4.8)	186 (7.3)	18 (0.7)	40 (1.6)

⑤ 入学者数（平成26年4月1日から同年5月1日までの入学者）は2,442人（うち就業している者128人）で、前年度より235人減少している。これを課程別にみると、高等課程100人（同58人）、専門課程1,469人（同70人）、一般課程873人（同0人）となっている。

また、専門課程入学者のうち、大学等卒業者は110人（大学97人、短期大学12人、高等専門学校1人）となっている。

⑥ 卒業者数（平成25年4月1日から平成26年3月31日までの卒業者）は2,425人（うち就職者1,144人（在学中から引続きその職にある場合を含む。））で、前年度より22人増加している。課程別では、高等課程100人（同75人）、専門課程1,265人（同1,069人）、一般課程1,060人（同0人）となっている。

(4) 教員数及び職員数（表 37）

① 教員数は1,297人（本務者372人、兼務者925人）で、前年度より91人増加している。このうち男が722人（本務者152人、兼務者570人）、女が575人（本務者220人、兼務者355人）となっている。

② 職員数（本務者）は、148人（男72人、女76人）となっている。

表39 専修学校の課程別学科数及び生徒数

区 分	計	昼 間		そ の 他			
		学科数	生徒数	学科数	生徒数	学科数	生徒数
総 数	80	4,782	73	4,540	7	242	
工 業 関 係	専門課程	8	278	8	278	-	-
	土木・建築	1	28	1	28	-	-
	自動車整備	2	66	2	66	-	-
	情報処理	5	184	5	184	-	-
農 業 関 係	専門課程	1	55	1	55	-	-
	農業	1	55	1	55	-	-
医 療 関 係	高等課程	1	147	1	147	-	-
	准看護	1	147	1	147	-	-
	専門課程	21	2,111	18	1,894	3	217
	看護	8	956	7	832	1	124
	歯科衛生	2	222	2	222	-	-
	歯科技工	1	34	1	34	-	-
	はり・きゅう・あんま	3	237	2	204	1	33
	柔道整復	2	162	1	102	1	60
	理学・作業療法	4	439	4	439	-	-
	その他	1	61	1	61	-	-
衛 生 関 係	高等課程	1	24	1	24	-	-
	調理	1	24	1	24	-	-
	専門課程	6	261	6	261	-	-
	調理	1	49	1	49	-	-
	理容	1	6	1	6	-	-
	美容	2	150	2	150	-	-
	製菓・製パン	2	56	2	56	-	-
教育・社会福祉関係	専門課程	8	230	8	230	-	-
	保育士養成	3	88	3	88	-	-
	介護福祉	5	142	5	142	-	-
商 業 実 務 関 係	専門課程	8	304	8	304	-	-
	商業	1	45	1	45	-	-
	経理・簿記	2	24	2	24	-	-
	経営	1	53	1	53	-	-
	情報	1	30	1	30	-	-
	ビジネス	2	97	2	97	-	-
	その他	1	55	1	55	-	-
服 飾 ・ 家 政 関 係	高等課程	1	1	1	1	-	-
	和洋裁	1	1	1	1	-	-
	専門課程	7	40	4	32	3	8
	和洋裁	7	40	4	32	3	8
文 化 ・ 教 養 関 係	高等課程	1	11	1	11	-	-
	その他	1	11	1	11	-	-
	専門課程	16	447	15	430	1	17
	デザイン	3	84	3	84	-	-
	動物	3	104	3	104	-	-
	法律行政	2	26	2	26	-	-
	スポーツ	2	21	1	4	1	17
	その他	6	212	6	212	-	-
	一般課程	1	873	1	873	-	-
	受験・補習	1	873	1	873	-	-

7 各種学校

(1) 学校数 (表 40)

- ① 学校数は20校で、廃校7校、専修学校への移行1校により、前年度より8校減少した。
 ② 学校数を設置者別にみると、私立20校（社団法人立6校、その他の法人立1校、個人立13校）となっている。

表40 各種学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	計 (私立)	準学校法人立	財団法人立	社団法人立	その他の法人立	個人立
平成 22 年度	38	-	-	7	1	30
23	35	-	-	6	1	28
24	34	-	-	6	1	27
25	28	-	-	6	1	21
26	20	-	-	6	1	13

(2) 課程数

- ① 課程数は15課程で、課程別には准看護が6課程で最も多く、次いで編物・手芸及び料理3課程の順となっている。

(3) 生徒数 (表 41, 図 20)

- ① 生徒数は664人（男122人、女542人）で、前年度より130人減少（男19人、女111人）している。

表41 各種学校の現況

(単位：校・人)

区 分	学校数	生 徒 数						教員数 (本務者)			職員数 (本務者)
		総 数			うち昼間			計	男	女	
		計	男	女	計	男	女				
平成 22 年度	38	934	123	811	856	109	747	57	8	49	35
23	35	934	147	787	825	106	719	52	4	48	33
24	34	853	136	717	779	116	663	46	3	43	24
25	28	794	141	653	685	102	583	39	2	37	24
26	20	664	122	542	597	122	475	30	2	28	20

- ② 課程別にみると、音楽が279人（全生徒数の42.0%）で最も多く、次いで准看護214人（同32.2%）、料理113人（同17.0%）の順となっている。

男女別にみると、男は准看護が65人（男子生徒数の53.3%）で最も多く、次いで料理52人（同42.6%）等の順となっている。一方、女は音楽が274人（女子生徒数の50.6%）で最も多く、次いで准看護149人（同27.5%）の順となっている。

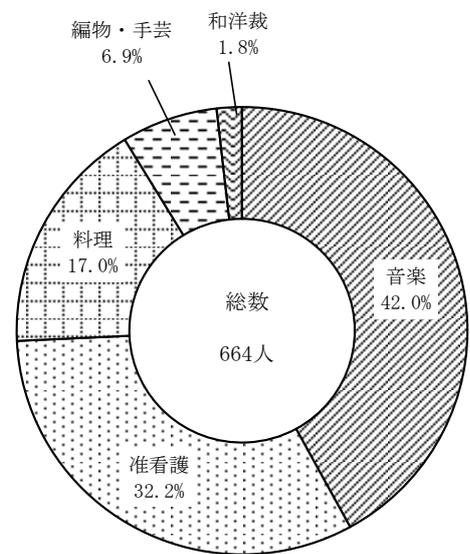
③ 修業年限別にみると、「修業年限1年未満の課程」の生徒数は71人（男18人、女53人）で、「修業年限1年以上の課程」の生徒数は593人（男104人、女489人）となっている。

④ 入学者数（平成26年4月1日から同年5月1日まで）は207人で、前年度より6人減少している。

⑤ 卒業者数（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）は122人で、前年度より87人減少している。

また、これを課程別にみると、准看護が94人（全卒業者77.0%）で最も多く、次いで音楽16人（同13.1%）の順となっている。

図 20 各種学校の課程別生徒数の構成比



(4) 教員数及び職員数（表 41）

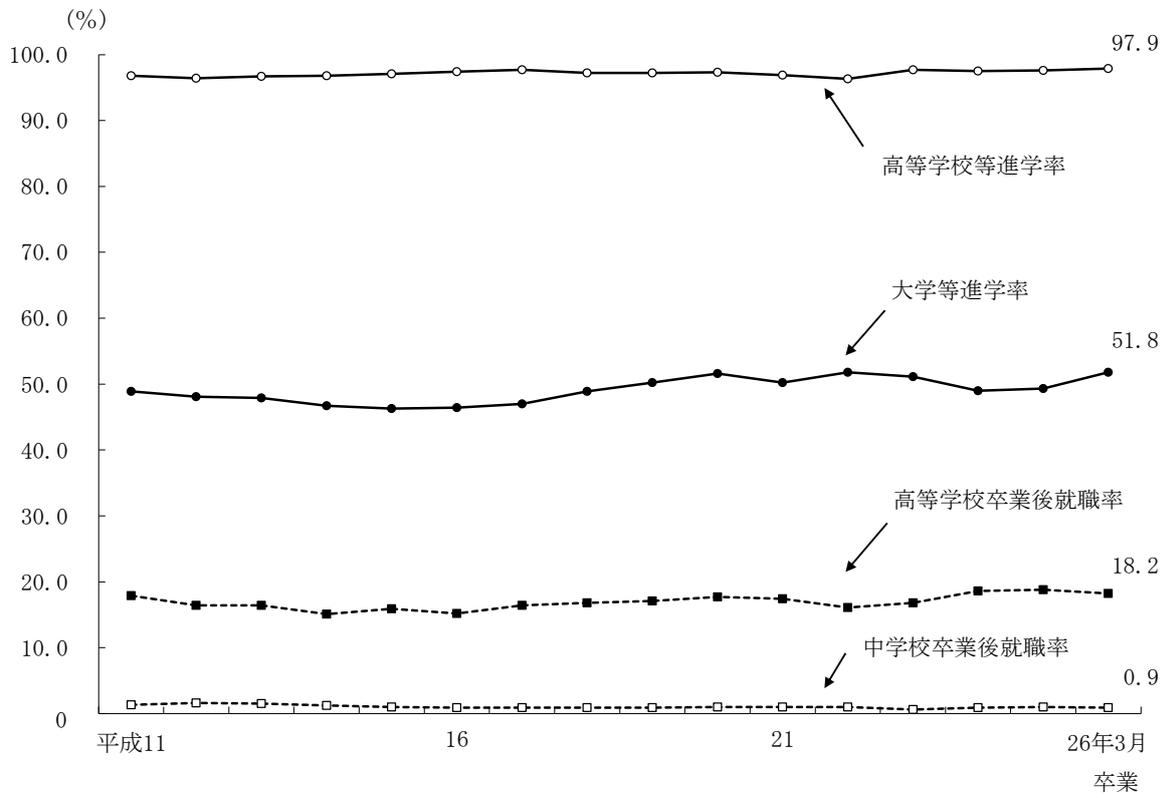
① 教員数は285人（本務者30人、兼務者255人）で、前年度と同数である。

このうち、男が143人（本務者2人、兼務者141人）、女が142人（本務者28人、兼務者114人）となっている。

② 職員数（本務者）は20人（男3人、女17人）で、前年度より4人減少している。

Ⅱ 卒業後の状況調査

図 21 卒業後の状況の推移（中学校・高等学校）



1 中学校卒業生

(1) 卒業生 (表 42, 図 22)

① 平成26年3月の中学校卒業生数は9,652人(男4,951人、女4,701人)で、前年より212人増加(男104人、女108人)している。

② 進路別内訳をみると、高等学校等進学者9,449人(卒業生数の97.9%)、専修学校高等課程進学者2人(同0.02%)、専修学校一般課程等入学者3人(同0.03%)、公共職業能力開発施設等入学者6人(同0.1%)、就職者90人(同0.9%)、その他(上記以外の者)102人(同1.1%)となっている。

図 22 中学校卒業後の状況別構成比

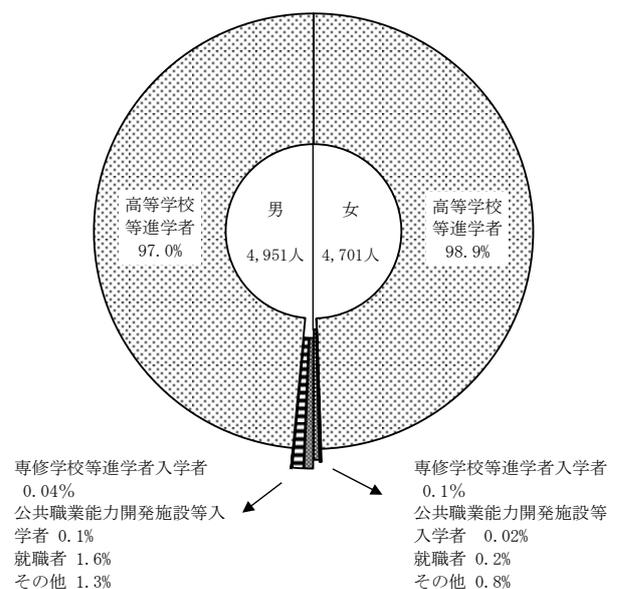


表 42 中学校卒業後の状況

(単位：人)

区 分	卒 業 者			高等学校等進学者			専修学校等 進学者・入学者				(再 掲)		公共職業能力開 発施設等入学者				
	計	男	女	計	うち就 職して いる者	男	女	計	うち就 職して いる者	男	女	専修学 校高等 課程 進学者	専修学 校一般 課程等 入学者	計	うち就 職して いる者	男	女
平成 22 年 3 月	9,764	4,961	4,803	9,398	5	4,747	4,651	44	-	19	25	31	13	30	-	27	3
23	9,111	4,592	4,519	8,897	1	4,463	4,434	21	-	10	11	12	9	9	-	8	1
24	9,266	4,734	4,532	9,033	3	4,583	4,450	21	-	11	10	14	7	5	-	5	-
25	9,440	4,847	4,593	9,214	6	4,690	4,524	7	-	5	2	6	1	3	-	2	1
26	9,652	4,951	4,701	9,449	-	4,800	4,649	5	-	2	3	2	3	6	-	5	1

区 分	就 職 者			左記以外の者		
	計	男	女	計	男	女
平成 22 年 3 月	94	60	34	198	108	90
23	52	37	15	132	74	58
24	77	56	21	130	79	51
25	95	76	19	121	74	47
26	90	79	11	102	65	37

注：①「高等学校等進学者」とは、高等学校の本科（全日制、定時制及び通信制）及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科へ進学した者である。

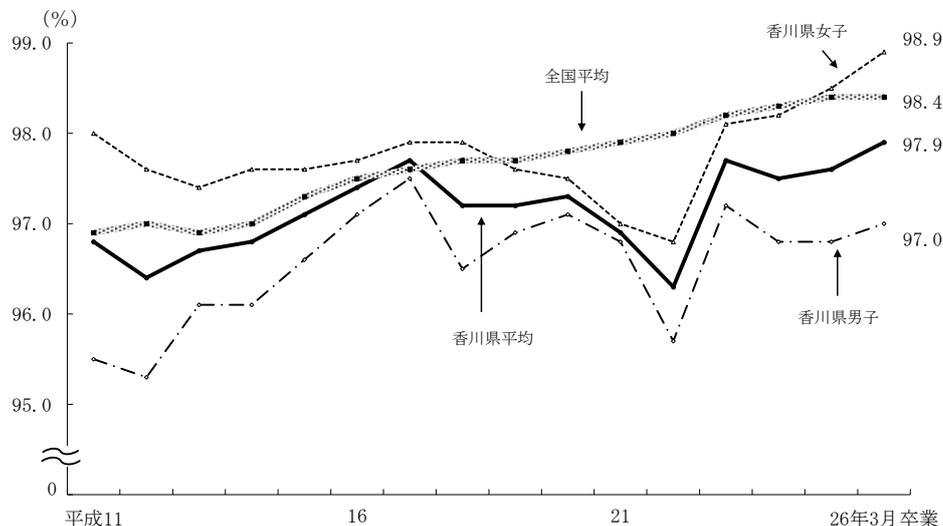
②「専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程又は各種学校へ入学した者である。

③「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者、進路が未定であることが明らかな者、不詳者・死亡である。

(2) 進 学 者 (表 42, 図 23)

- ① 高等学校等進学者（表42注①参照）は9,449人（男4,800人、女4,649人）で、前年より235人増加（男110人、女125人）している。
- ② 高等学校等進学率は97.9%（男97.0%、女98.9%）で、前年より0.3ポイント上昇（男0.2ポイント、女0.4ポイント上昇）している。
また、全国平均は98.4%で、本県は全国第41位となっている。
- ③ 高等学校等進学者のうち県外への進学者は158人で、同進学者の1.7%となっている。

図 23 中学校卒業者の高等学校等進学率の推移



(3) 就 職 者 (表 42, 図 24, 図 25)

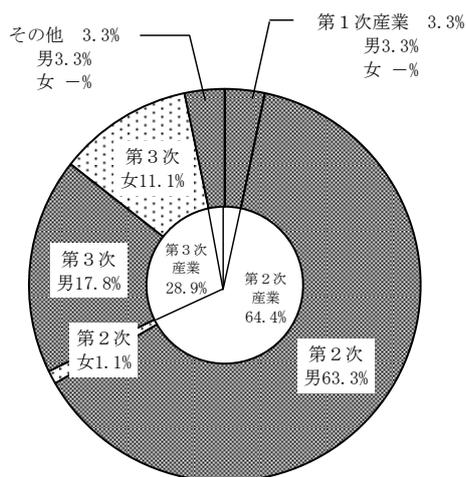
① 就職者は90人（男79人、女11人）で、高等学校等進学者のうちに就職している者はおらず、就職者総数は90人（男79人、女11人）で、前年より11人減少（男同数、女11人減少）している。

② 就職率は0.9%（男1.6%、女0.2%）で、前年より0.2ポイント低下（男同ポイント、女0.3ポイント低下）している。

また、全国平均は0.4%で、本県は全国第1位となっている。

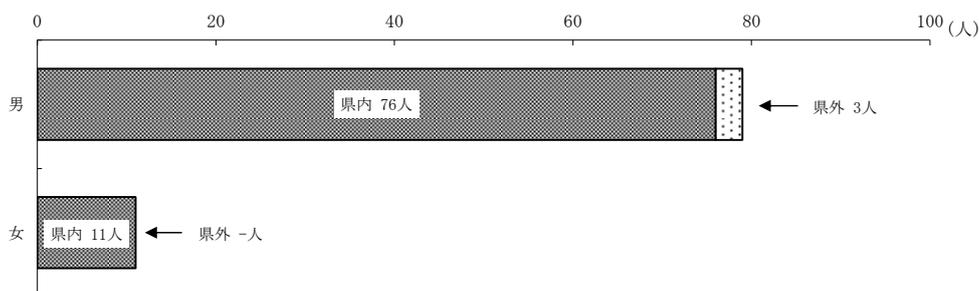
③ 産業部門別にみると、第2次産業（鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業）が58人（就職者総数の64.4%）で最も多く、次いで、第3次産業（電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、複合サービス事業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されるものを除く))が26人（同28.9%）、第1次産業（農業・林業、漁業）3人（同3.3%）、その他3人（同3.3%）の順となっている。

図24 中学校卒業者の産業別就職者の構成比



④ 就職先を県内・県外別にみると、県外に就職した者は3人（就職者総数の3.3%）で、前年より2人増加している。

図25 中学校卒業者の県内外別就職者数



2 高等学校卒業者

(1) 卒業者 (表 43, 図 26)

① 平成 26 年 3 月の卒業生数は 8,154 人 (男 4,013 人、女 4,141 人) で、前年より 442 人減少 (男 275 人、女 167 人) している。

② 進路別内訳をみると、大学等進学者 4,223 人 (卒業生数の 51.8%)、専修学校専門課程進学者 1,384 人 (同 17.0%)、専修学校一般課程等入学者 581 人 (同 7.1%)、公共職業能力開発施設等入学者 99 人 (同 1.2%)、就職者 1,487 人 (同 18.2%)、一時的な仕事に就いた者 94 人 (同 1.2%)、その他 (上記以外の者) 286 人 (同 3.5%) となっている。

図 26 高等学校卒業後の進路別構成比

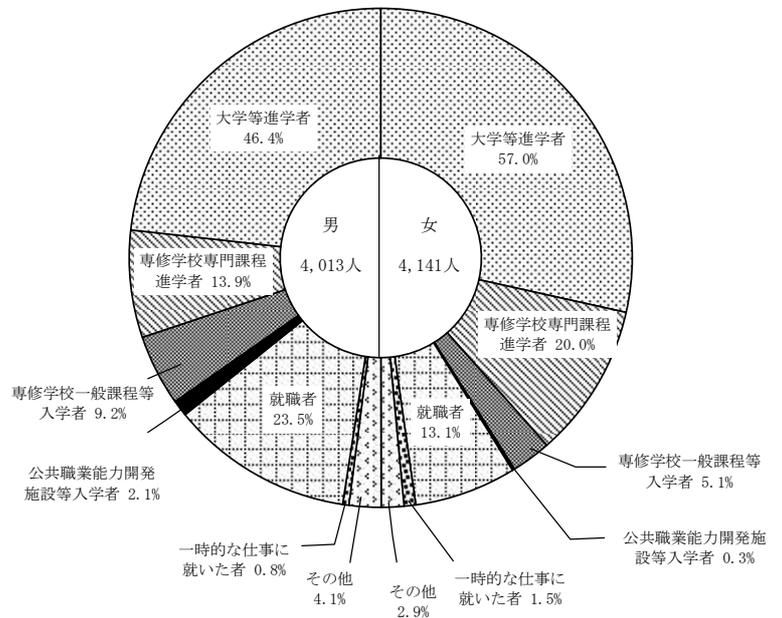


表43 高等学校卒業後の状況

区分	(単位：人)																
	卒業生			大学等進学者				専修学校等進学者・入学者				(再掲)		公共職業能力開発施設等入学者			
	計	男	女	計	うち就職している者	男	女	計	うち就職している者	男	女	専修学校専門課程進学者	専修学校一般課程等入学者	計	うち就職している者	男	女
平成 22 年 3 月	8,419	4,269	4,150	4,360	-	2,034	2,326	1,982	-	958	1,024	1,311	671	127	-	109	18
23	8,359	4,240	4,119	4,269	-	1,987	2,282	2,022	1	996	1,026	1,380	642	92	-	84	8
24	8,121	4,054	4,067	3,983	-	1,774	2,209	2,078	-	1,020	1,058	1,412	666	92	-	84	8
25	8,596	4,288	4,308	4,241	-	1,940	2,301	2,231	1	1,073	1,158	1,552	679	63	-	57	6
26	8,154	4,013	4,141	4,223	-	1,864	2,359	1,965	-	924	1,041	1,384	581	99	-	85	14
区分	就職者			一時的な仕事に就いた者			左記以外の者			注：①「大学等進学者」とは、大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部(正規の課程)及び放送大学(全科履修生)、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び特別支援学校高等部(専攻科)へ進学した者である。 ②「一時的な仕事に就いた者」とは、アルバイト・パート等で臨時的な収入を得る仕事に就いた者であり、平成 16 年度から調査している。 ③「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者、進路が未定であることが明らかでない者、不詳者・死亡である。							
	計	男	女	計	男	女	計	男	女								
平成 22 年 3 月	1,352	878	474	118	38	80	480	252	228								
23	1,400	892	508	129	59	70	447	222	225								
24	1,510	946	564	102	37	65	356	193	163								
25	1,614	998	616	107	32	75	340	188	152								
26	1,487	943	544	94	32	62	286	165	121								

(2) 進 学 者 (表 44, 図 27)

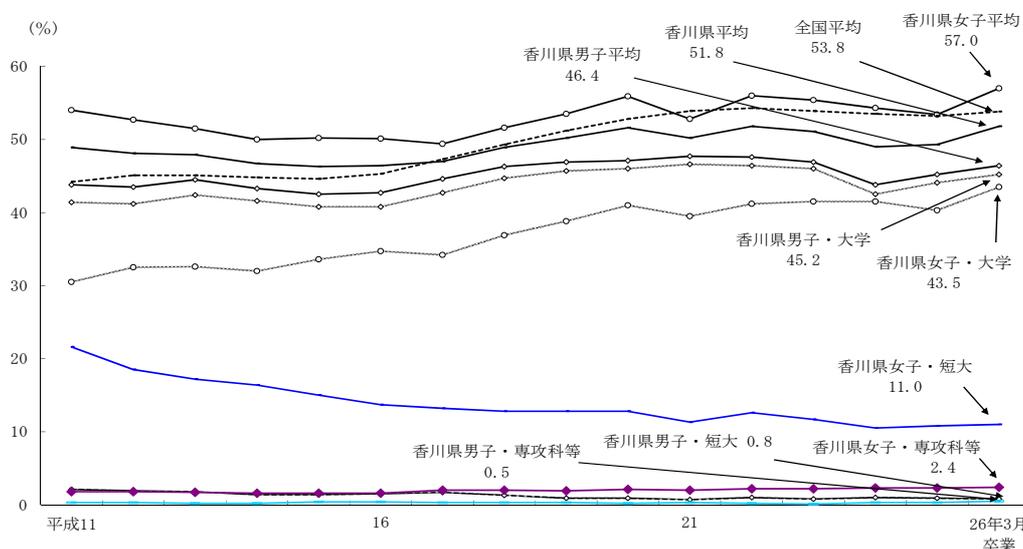
- ① 大学等進学者(表 43 注①参照)は 4,223 人(男 1,864 人、女 2,359 人)で、前年より 18 人減少(男 76 人減少、女 58 人増加)している。
- ② 現役進学率(全卒業業者のうち大学等進学者の占める割合)は 51.8%(男 46.4%、女 57.0%)で、前年より 2.5 ポイント上昇(男 1.2 ポイント、女 3.6 ポイント)している。また、全国平均は 53.8%で、本県は全国第 18 位となっている。
- ③ 大学等進学者を進学先別にみると、大学(学部)が 3,617 人(進学者数の 85.7%)、次いで短期大学(本科) 487 人(同 11.5%)、高等学校専攻科等 119 人(同 2.8%)となっている。
- ④ 大学(学部)・短期大学(本科)への志願者数は 4,907 人(男 2,375 人、女 2,532 人)で、前年より 133 人減少(男 139 人減少、女 6 人増加)している。
- ⑤ 大学(学部)への志願者数は 4,416 人(男 2,343 人、女 2,073 人)で、男が 53.1%を占めている。
- ⑥ 短期大学(本科)への志願者数は 491 人(男 32 人、女 459 人)で、女が 93.5%を占めている。
- ⑦ 志願率(高等学校卒業業者に対する大学(学部)及び短期大学(本科)への志願者数の割合)は 60.2%(男 59.2%、女 61.1%)となっている。

表 44 進学者内訳の推移

(単位：人)

区 分	計	大学(学部)	短期大学(本科)	専攻科・その他
平成 22 年 3 月	4,360	3,692	565	103
23	4,269	3,658	515	96
24	3,983	3,411	469	103
25	4,241	3,627	502	112
26	4,223	3,617	487	119
内 訳 男	1,864	1,814	31	19
女	2,359	1,803	456	100

図 27 高等学校卒業業者の大学等進学率の推移



(3) 専修学校専門課程進学者・一般課程等入学者（表 45）

- ① 専修学校専門課程進学者数は1,384人（男556人、女828人）で、前年より168人減少（男76人、女92人）している。
- ② 専修学校一般課程等入学者数は581人（男368人、女213人）で、このうち専修学校（一般課程・高等課程）入学者234人（男140人、女94人）、各種学校入学者347人（男228人、女119人）となっている。
- また、公共職業能力開発施設等入学者は99人（男85人、女14人）となっている。
- ③ 全卒業者数のうち専修学校専門課程進学者数、同一般課程等入学者数及び公共職業能力開発施設等入学者数の占める割合は25.3%で、前年より1.4ポイント低下している。

表 45 専修学校専門課程進学者・専修学校一般課程等入学者数

（単位：人）

区 分	総 数			専修学校専門課程 進 学 者			専修学校一般課程等入学者						公共職業能力開 発施設等入学者		
							専修学校一般 課程・高等課程			各種学校					
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 22 年 3 月	2,109	1,067	1,042	1,311	518	793	399	272	127	272	168	104	127	109	18
23	2,114	1,080	1,034	1,380	564	816	379	254	125	263	178	85	92	84	8
24	2,170	1,104	1,066	1,412	582	830	373	249	124	293	189	104	92	84	8
25	2,294	1,130	1,164	1,552	632	920	290	184	106	389	257	132	63	57	6
26	2,064	1,009	1,055	1,384	556	828	234	140	94	347	228	119	99	85	14

(4) 就 職 者（表 43, 図 28, 29）

- ① 就職者は1,487人（男943人、女544人）で、大学等進学者、専修学校専門課程進学者・一般課程等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうちに就職している者はおらず、就職者総数は1,487人で、前年より128人減少（男55人、女73人）している。
- ② 就職率は18.2%（男23.5%、女13.1%）で、前年より0.6ポイント低下（男0.2ポイント上昇、女1.2ポイント低下）している。
- また、全国平均は17.5%で、本県は全国第33位となっている。
- ③ 産業部門別にみると、第2次産業が737人（就職者総数の49.6%）で最も多く、次いで第3次産業732人（同49.2%）、第1次産業9人（同0.6%）、その他9人（同0.6%）となっている。
- ④ 職業別にみると、生産工程従事者が551人（就職者総数の37.1%）で最も多く、次いでサービス職業従事者231人（同15.5%）、専門的・技術的職業従事者144人（同9.7%）の順となっている。これを男女別にみると、男は生産工程従事者457人（男子就職者総数の48.5%）、専門的・技術的職業従事者99人（同10.5%）サービス職業従事者93人（同9.9%）の順になっている。女はサービス職業従事者138人（女子就職者総数の25.4%）、事務従事者126人（同23.2%）、生産工程従事者94人（同17.3%）、販売従事者89人（同16.4%）の順になっている。

図 28 高等学校卒業者の産業別就職者構成比

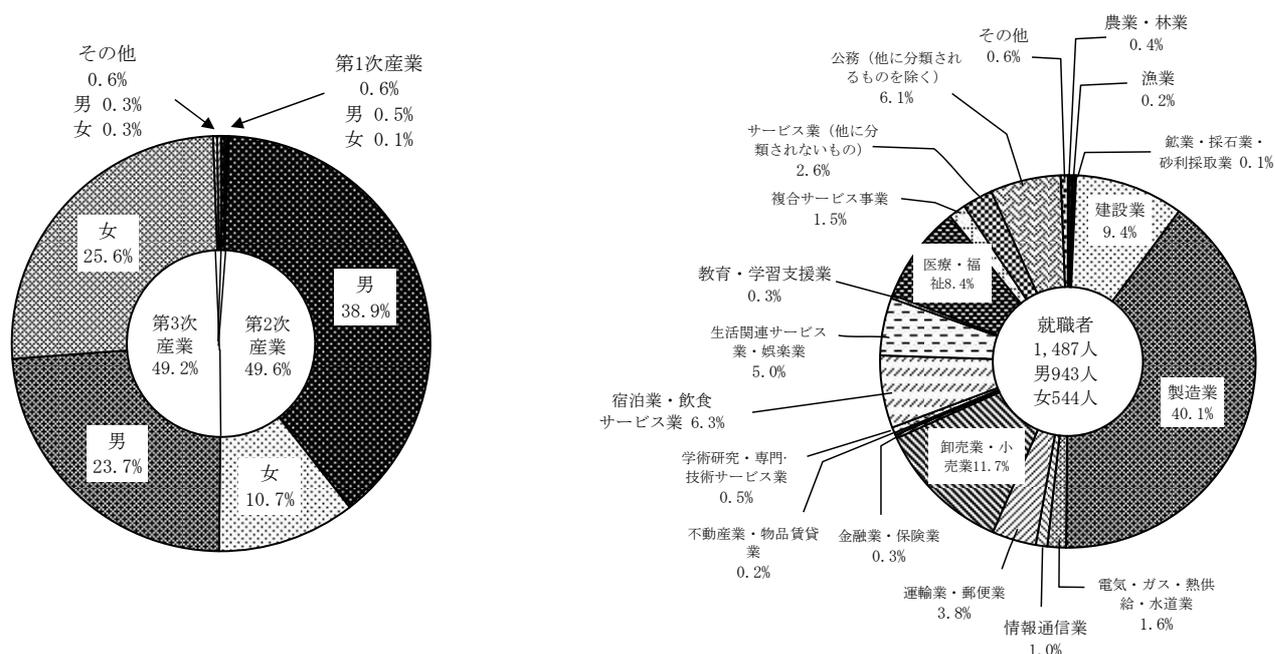
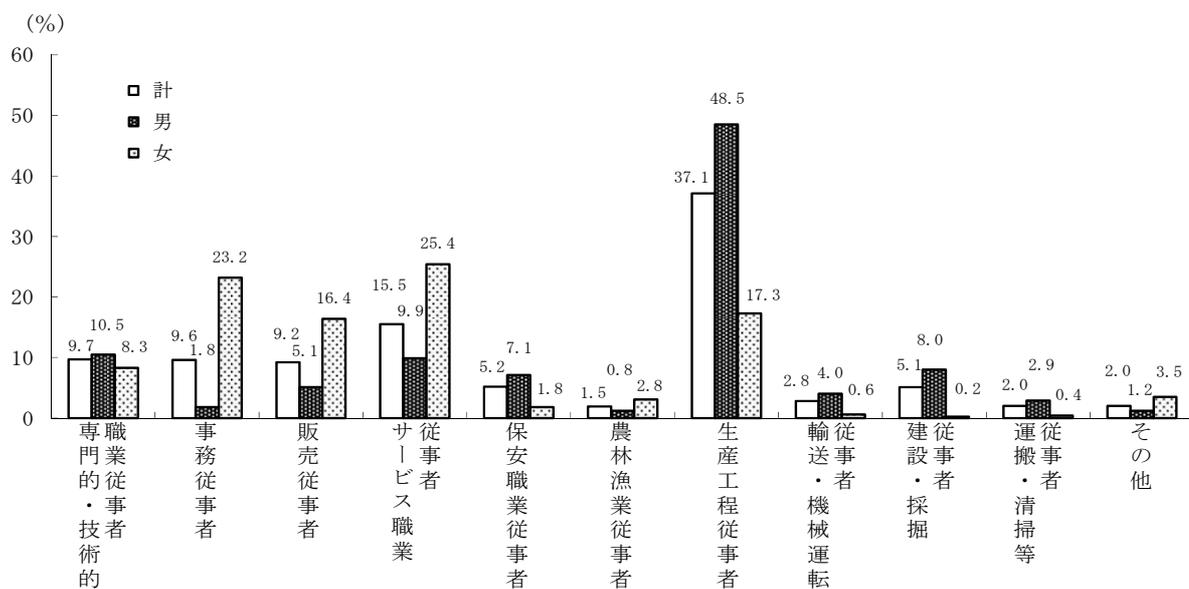


図 29 高等学校卒業者の職業別就職者構成比



- ⑤ 就職先を県外・県内別にみると、県内就職者が1,362人（就職者総数の91.6%）、県外就職者125人（同8.4%）となり、前年より県内就職者の割合が0.3ポイント低下している。
- ⑥ 県外就職先を都道府県別にみると、東京都が24人（県外就職者総数の19.2%）で最も多く、次いで大阪府21人（同16.8%）、愛媛県19人（同15.2%）等の順になっている。
- 男女別にみると、男が100人（県外就職者総数の80.0%）、女が25人（同20.0%）で、前年に比べ男女ともに3人減少している。

3 特別支援学校（中学部・高等部）卒業生

(1) 中 学 部（表 46）

- ① 平成26年3月の特別支援学校中学部の卒業生数は、109人（男64人、女45人）で、前年より11人減少（男12人減少、女1人増加）している。
- ② 卒業生のうち高等学校等進学者数は、109人（特別支援学校中学部卒業生の100.0%）となっている。

表46 特別支援学校（中学部）卒業後の状況

(単位：人)

区 分	卒業生数			高等学校等進学者			専修学校等進学者・入学者			就職者			左記以外の者			高等学校等進学率 (%)	就職率 (%)
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
計	109	64	45	109	64	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
視覚障害	2	1	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
聴覚障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害	92	53	39	92	53	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
肢体不自由	5	5	-	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
病弱・身体虚弱	10	5	5	10	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

(2) 高 等 部（表 47）

- ① 平成26年3月の特別支援学校高等部の卒業生数は、168人（男110人、女58人）で、前年より21人増加（男7人増加、女14人増加）している。
- ② 卒業生のうち大学等進学者数は、2人（特別支援学校高等部卒業生の1.2%）となっている。
- ③ 卒業生のうち就職者数は、47人（特別支援学校高等部卒業生の28.0%）となっている。

表47 特別支援学校（高等部）卒業後の状況

(単位：人)

区 分	卒業生数			大学等進学者			専修学校専門課程進学者			専修学校一般課程等入学者			公共職業能力開発施設等入学者			就職者			左記以外の者			大学等進学率 (%)	就職率 (%)
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女					
計	168	110	58	2	-	2	2	-	2	-	-	2	2	-	47	38	9	115	70	45	1.2	28.0	
視覚障害	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	4	3	1	-	16.7	
聴覚障害	4	3	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	75.0	
知的障害	129	83	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	29	9	91	54	37	-	29.5	
肢体不自由	15	10	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	3	-	11	6	5	-	20.0	
病弱・身体虚弱	14	9	5	2	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	2	2	-	9	7	2	14.3	14.3	

Ⅲ 不就学学齡児童生徒調査

1 就学免除者（表48）

就学免除者は、学齡児童（6～11歳）、学齡生徒（12～14歳）とも0人となっている。

2 就学猶予者（表48）

就学猶予者は、学齡児童0人、学齡生徒2人となっている。

3 1年以上居所不明者及び死亡者（表48）

1年以上居所不明者は、学齡児童1人、学齡生徒0人となっている。

また、平成25年度間に死亡した学齡児童は2人、学齡生徒は3人となっている。

表 48 就学免除者・猶予者・居所不明者及び死亡者数の推移

（単位：人）

区 分	就学免除者			就学猶予者			1年以上居所不明者			死亡者（前年度間）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成22年度	-	-	-	2	2	-	4	2	2	5	2	3
23	-	-	-	1	1	-	1	-	1	3	2	1
24	-	-	-	5	4	1	1	1	-	2	-	2
25	-	-	-	3	2	1	2	1	1	7	4	3
26	-	-	-	2	1	1	1	-	1	5	2	3